

全講義動画を...

図解付き
でまとめた

全3話



完全総合PDF

1話目PDF

永久保存版！ ずっと使える

FXの本質 ×
テクニカル分析



完 全 攻 略

ということで！



1話目PDF

負け組トレーダーから
最短で安定して勝ち続けられる
トレーダーになるために必要な...



1話目PDF

FXの本質とテクニカル分析が

完全マスターできる

偽者トレーダーでは話せない

有料級の内容になっています！



1話目PDF

この資料を見ている方の中には...

1話目PDF

- ひたすら本とYoutubeで勉強してるけど
中々勝てるようにならない



1話目PDF

- ・色々な手法があり過ぎてどの手法を使えばいいのか分からない



1話目PDF

・根拠のないエントリーばかりで
勝ち続けられる実感が持てない



1話目PDF

・感情に支配されて何度も
コツコツドカンにあってしまう



1話目PDF

**みたいな悩みを持っていたり
経験してきた方が多いと思います！**

1話目PDF

ではなぜ多くのトレーダーが

このような状態に陥ってしまうのか？

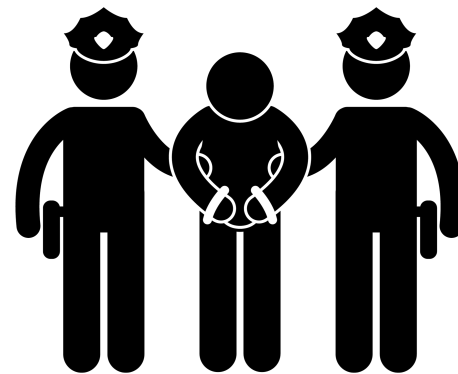
1話目PDF

それは...

「FXの本質」

と

「正しい努力の仕方」



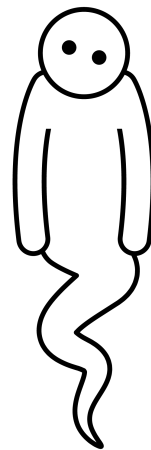
を全く分かっていないからです。

1話目PDF

そんな状態でいくら頑張っても

1話目PDF

**全然勝てない最悪の地獄が
無限に続くことになります...**



1話目PDF

それどころか...

1話目PDF

何十万何百万という**お金**と

大量の時間も

無駄にしてしまいます。

1話目PDF

実際のところ

独学で3年間頑張っているのに、
表面的な知識だけでトレードして

1話目PDF

**200万円以上の損失を
出している方達をかなり見てきました。**

1話目PDF

死ぬ気で頑張るよりも

1話目PDF

正しい努力をする方が大切です。

1話目PDF

つまり！

正しい努力を死ぬ気でする

のが正解です！

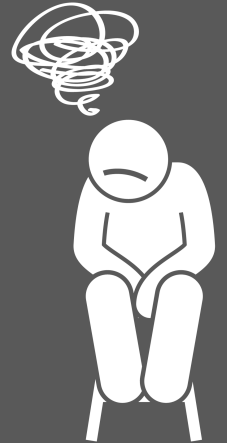
1話目PDF

この資料で解説する

**トレード方法を知らずに
そのままにしまうと...**

1話目PDF

- ・損失ばかりが増えて資金が全く増えない



1話目PDF

・楽な方に逃げて一生後悔してしまう



1話目PDF

それどころか、
やる気も無くなって

1話目PDF

楽しんで稼げる系の教材、コンサルに騙されて
時間もお金も無駄にしてしまうかもしれません。



1話目PDF

でも安心してください！

1話目PDF

**今回解説する内容を
集中して見て徹底するだけで**

1話目PDF

- **FXの正しいやり方を完全に理解する事ができる**

1話目PDF

- **自分の手法が固まり想像以上の利益に繋がる**

1話目PDF

こうなる可能性は充分にあります！

1話目PDF

それでは早速、
FXの本質について
解説していきます！

1話目PDF

まず皆さんが
必ず理解しないといけない、

1話目PDF

FXの原理原則となる理論があります。



1話目PDF

結論、**ダウ理論**です。

1話目PDF

FXでは、
チャートパターンや
インジケーターといった

1話目PDF

表面的なテクニック面がかなり
注目されていますが、

1話目PDF

そういったテクニックの
根源となるのが**ダウ理論**です。

1話目PDF

**なのでまず、
ダウ理論を学ぶことによって**

1話目PDF

無駄なくトレードスキルが身につく

FXの本質が理解できます。



1話目PDF

**逆にダウ理論を理解しないまま
トレードするというのは...**



裸で蜂の巣を駆除しにいくくらい

無謀で悲惨な結果が待ち受けています。

1話目PDF

**最初から基礎となる原理原則を無視して
表面的なテクニックに頼りまくった結果...**

1話目PDF

負けている人が**9割**です。

1話目PDF

**「ダウ理論と言葉は聞いたことあるけど、
どう使えばいいのか分からない」**

という状態だと思います。

1話目PDF

なので、もっと深掘りして



1話目PDF

ダウ理論の

役割と実際のチャートで**使う方法**

を説明していきます！

1話目PDF

ダウ理論が理解できれば...

1話目PDF

トレンド内でのエントリーポイント

や

決済ポイントを見分ける力

1話目PDF

これらが**格段にレベルアップ**します！

1話目PDF

このダウ理論は
トレンドを分析する為の理論です。

1話目PDF

そして、ダウ理論には
6つの法則が存在します！

①相場の値動きは全ての事象を織り込む

②トレンドは3種類ある

③トレンドは3段階ある

④トレンドは相互に確認されるべき

⑤トレンドは出来高でも確認できる

⑥トレンドは明確な転換シグナルが出るまで継続する



1話目PDF

この6つは全てトレンドを分析する時の
見方や考え方を説いています。

1話目PDF

**例えば、チャートを見た時に
上昇や下降のトレンドが発生していれば、**

1話目PDF

**「このトレンドはどこまで続いて
どこで終わるのか？」**

というのが1番知りたいと思います。



1話目PDF

ただチャートを眺めているだけでは
エントリーも決済もできないですよね？

1話目PDF

そこで**ダウ理論**の登場です！

1話目PDF

ダウ理論を使えば...

1話目PDF

現在の

トレンド状況や流れを把握する事ができて
トレード戦略が立てやすくなり、

1話目PDF

安定したトレードができるようになります！

1話目PDF

まずは

「ダウ理論＝トレンドを分析する為の理論」

と覚えておいてください！

そして、

ダウ理論には6つの法則がある

とさっき伝えましたが

1話目PDF

その中でも**1番大事な**

たった1つの法則だけを覚えておいてください！

1話目PDF

それは、

**「トレンドは明確な転換シグナル
が出るまで継続する」**

という法則です。

1話目PDF

この法則はダウ理論の中でも1番重要なのです

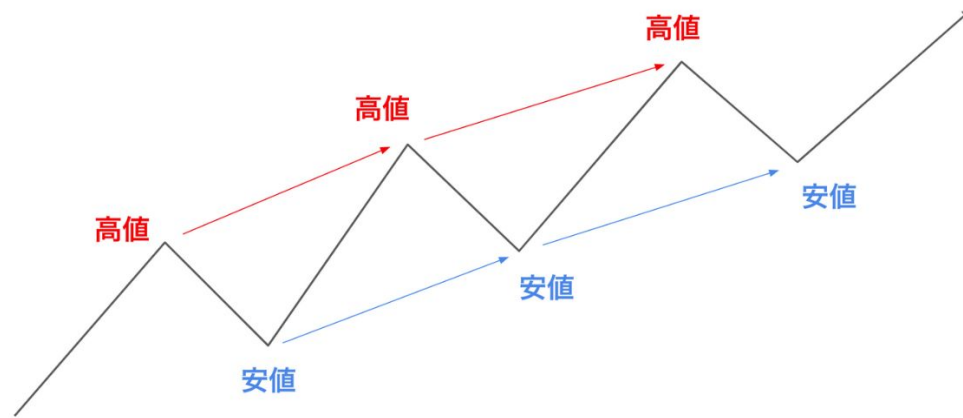
1話目PDF

その

明確な転換シグナル

というのを詳しく解説していきます！

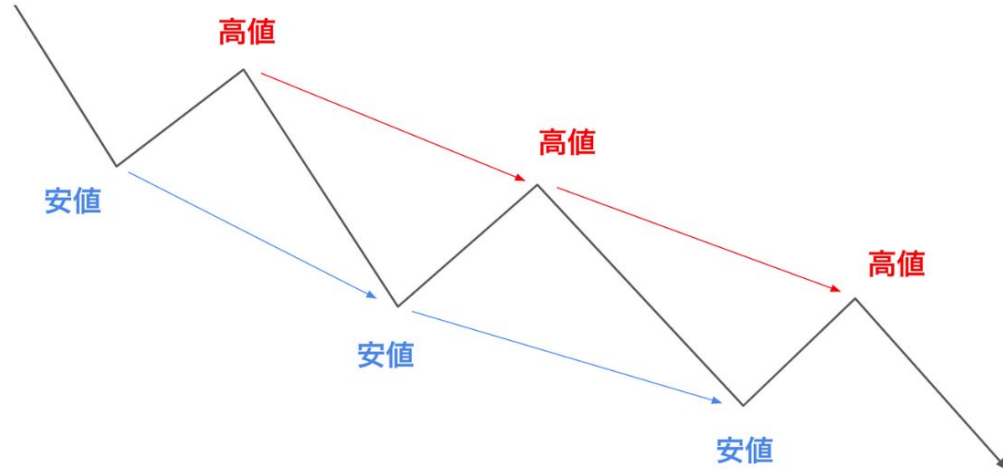
1話目PDF



高値安値が両方切り上がっていれば

上昇トレンド

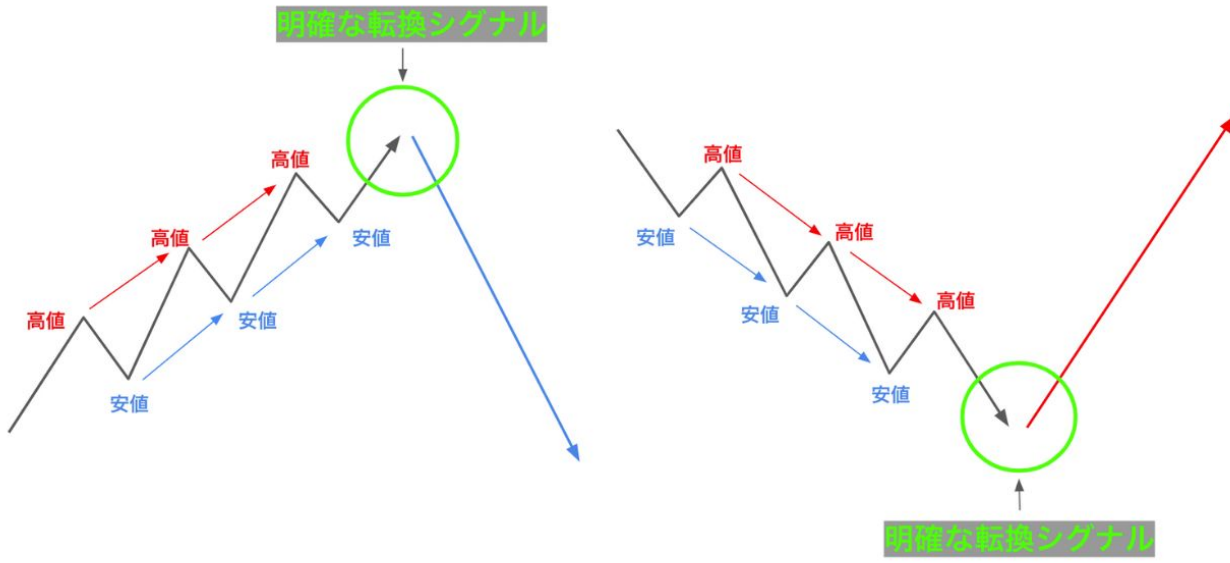
1話目PDF



高値安値が両方切り下がっていれば
下降トレンド

1話目PDF

このように
ダウ理論では判断されています。



高値安値が更新されている時に
明確な転換シグナルが出れば

反対のトレンドに切り替わっていきます。

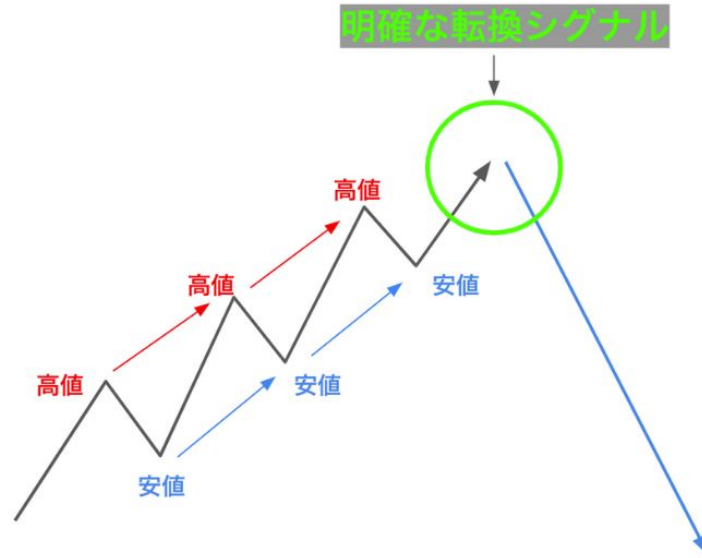
1話目PDF

明確な転換シグナルのことを

「ダウ転換」

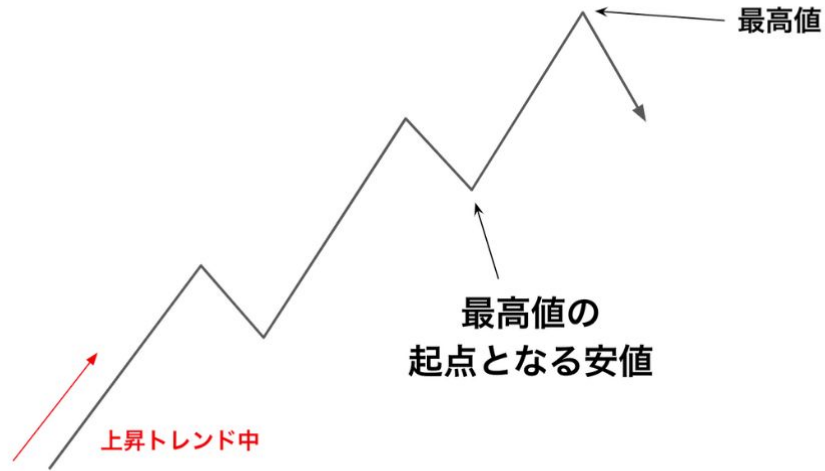
と言うので覚えておいてください！

1話目PDF



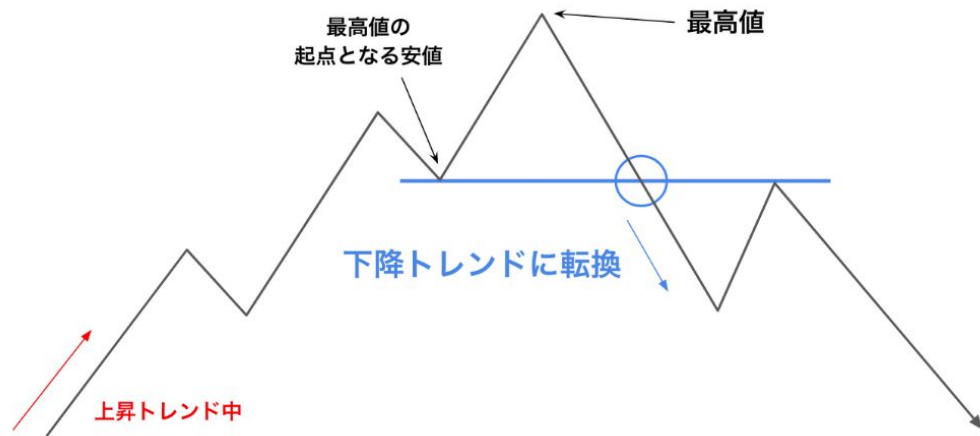
例えば
上昇トレンドから下降トレンドに
転換する時であれば

1話目PDF



高値安値が両方切り上がっていた時に、
最高値の起点となる安値。

1話目PDF

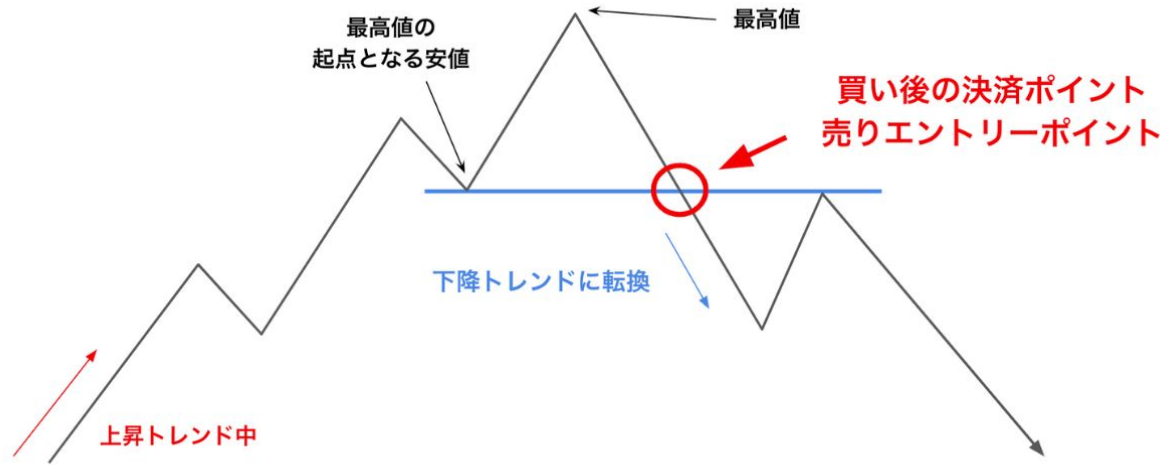


ここを価格が下に抜けることで

上昇トレンドが終了して、

下降トレンドへ転換することになります。

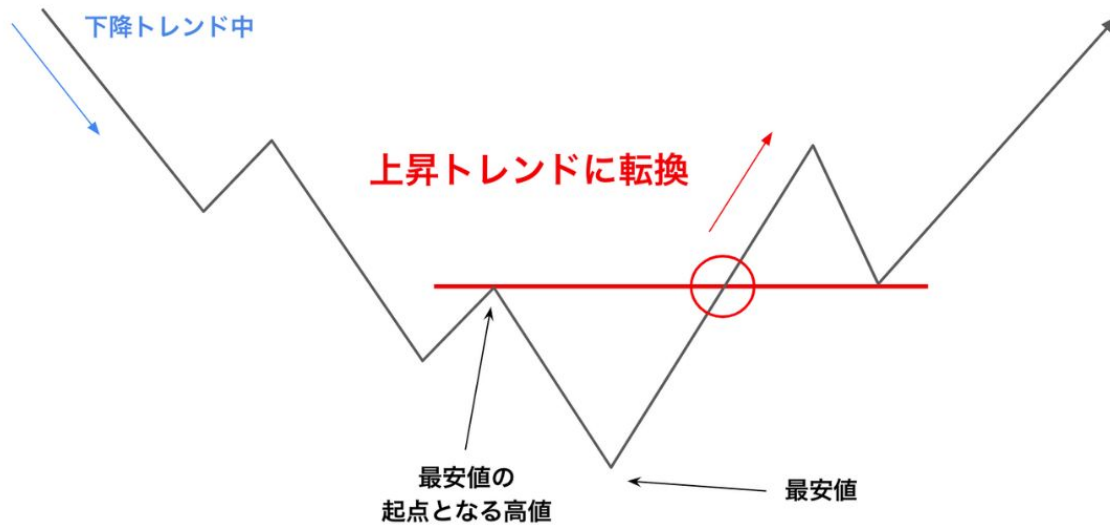
1話目PDF



なので、
買いエントリーをしていた場合は決済をしないといけませんし

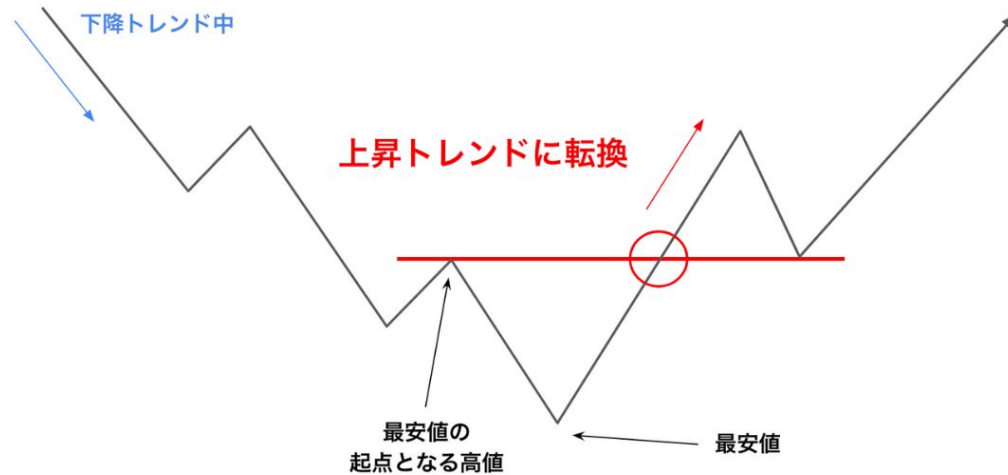
下降を狙っている場合は
売りエントリーを狙うポイントになります。

1話目PDF



下降トレンドから上昇トレンドに転換する時は反対です

1話目PDF



高値安値が両方切り下がっていた時に
最安値の起点となる高値を価格が上抜けることで

下降トレンドが終了して、
上昇トレンドへと転換することになります。

1話目PDF

そもそも

勝てない原因は何だと思いますか？

1話目PDF

知識不足だから？

1話目PDF

資金に余裕がないから？

1話目PDF

性格がFXに合っていないから？

1話目PDF

結論言うと、

本当に勝てる手法を持っていないからです

1話目PDF

大事なので2回書きます。

1話目PDF

本当に勝てる手法を持っていないからです！

1話目PDF

この資料を見てくれていて
中々勝てるようにならないと悩んでいる方も
勝てる手法さえ使いこなせるようになれば

1話目PDF

資金は自然と増えていきます

1話目PDF

ここで5つ質問します。

1話目PDF

あなたは今どんな手法を使っていますか？

1話目PDF

その手法を言語化して人に説明できますか？

1話目PDF

天才でなくても使えるシンプルな手法ですか？

1話目PDF

**バックテストを取って
実践で勝ち続けられる手法ですか？**

1話目PDF

自信と確信を持って使える手法ですか？

1話目PDF

今の質問に答えられない、
もしくはNOの答えが1つでもあれば

今使っているのは手法ではありません。

1話目PDF

そもそも勝てる手法じゃないから勝てない

1話目PDF

**資金が減り続けるのは
めちゃくちゃ当たり前ですよね？**

1話目PDF

でも安心してください！

1話目PDF

その勝てる手法を

今から**徹底的に**教えていきます！

1話目PDF

その勝てる手法とは...

1話目PDF

「ダウ理論×抵抗帯」

1話目PDF

この2つを掛け合わせることで、

根拠のあるトレードができて

抜群に勝てるようになります！

1話目PDF

ダウ理論 × 抵抗帯の手法は

「押し目買い」と「戻り売り」

を狙い撃ちする方法です。

1話目PDF

押し目買い・戻り売り

あまり詳しく知らない方に
説明していきます。

1話目PDF

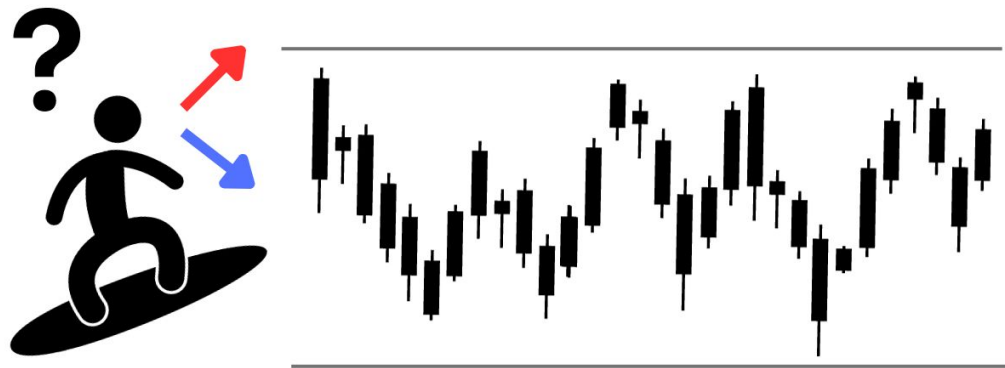
大前提、



**FXはトレンドに乗って
エントリーすることが大事です。**

※順張りやトレンドフォローと言います

1話目PDF



トレンドが出ていない横ばいの所は
上下どっちに動くか**プロでも分かりません**

※それに勝てたとしても大きな値幅を取ることができません

1話目PDF

また、トレンド相場であれば
どこでエントリーしてもいいのか？
と言われると

1話目PDF

答えは**NO**です。

しっかり狙うべき
タイミングがあります。

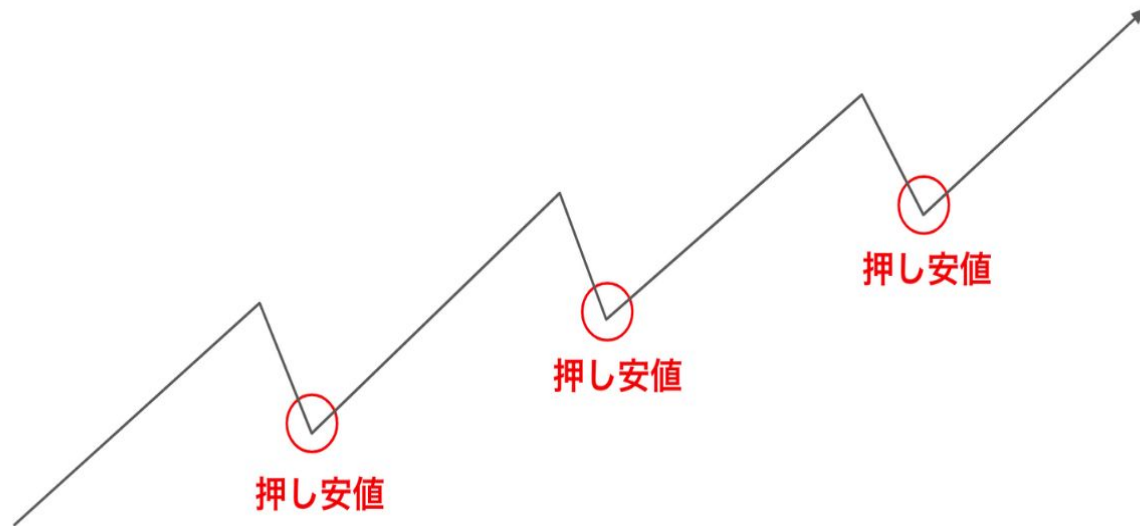
1話目PDF

それが

押し目(安値)と

戻り目(高値)です！

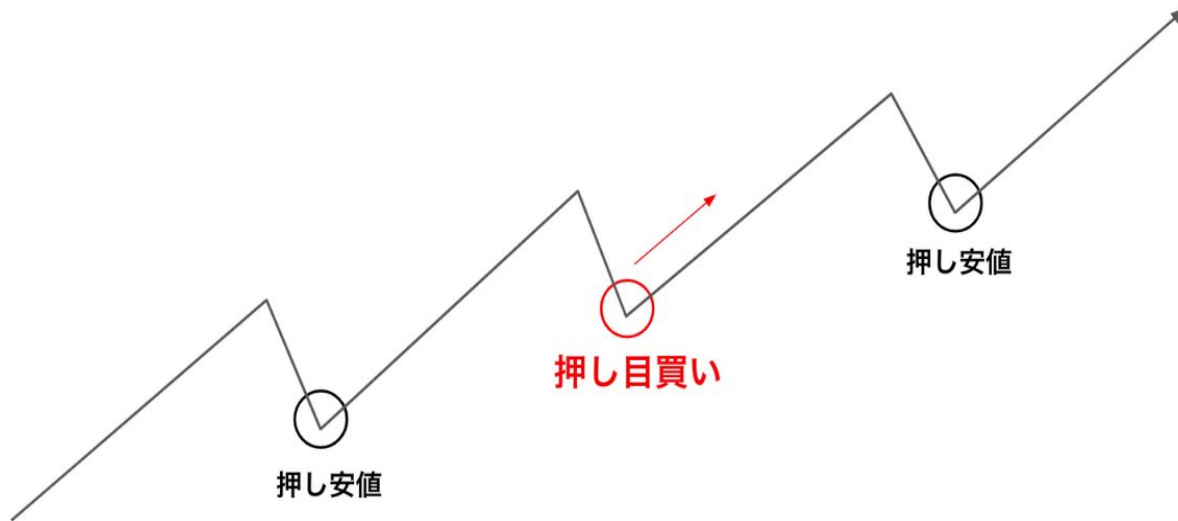
1話目PDF



上昇トレンド中に調整で

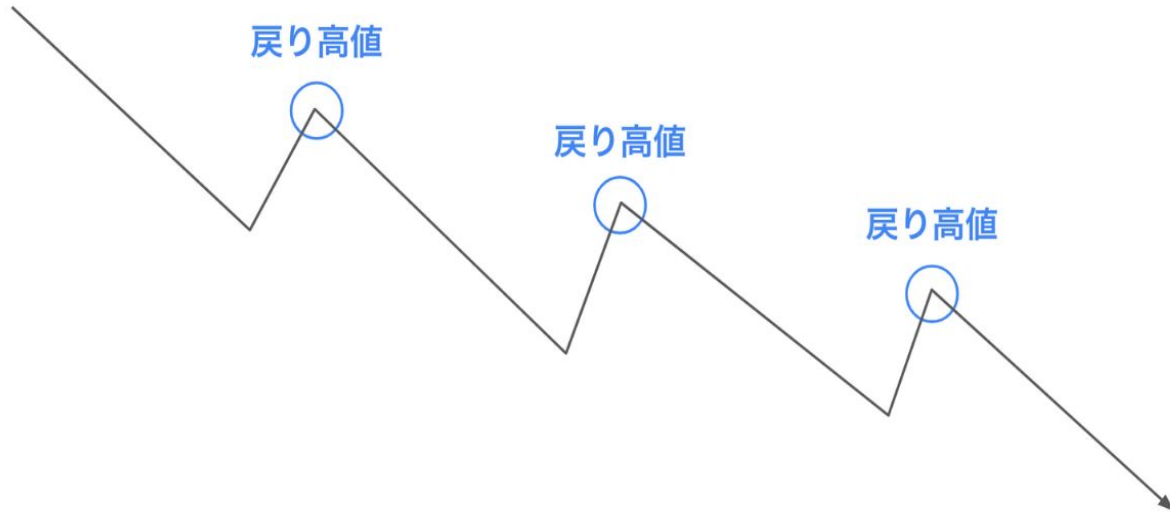
一時的に下がってくるタイミングを押し安値。

1話目PDF



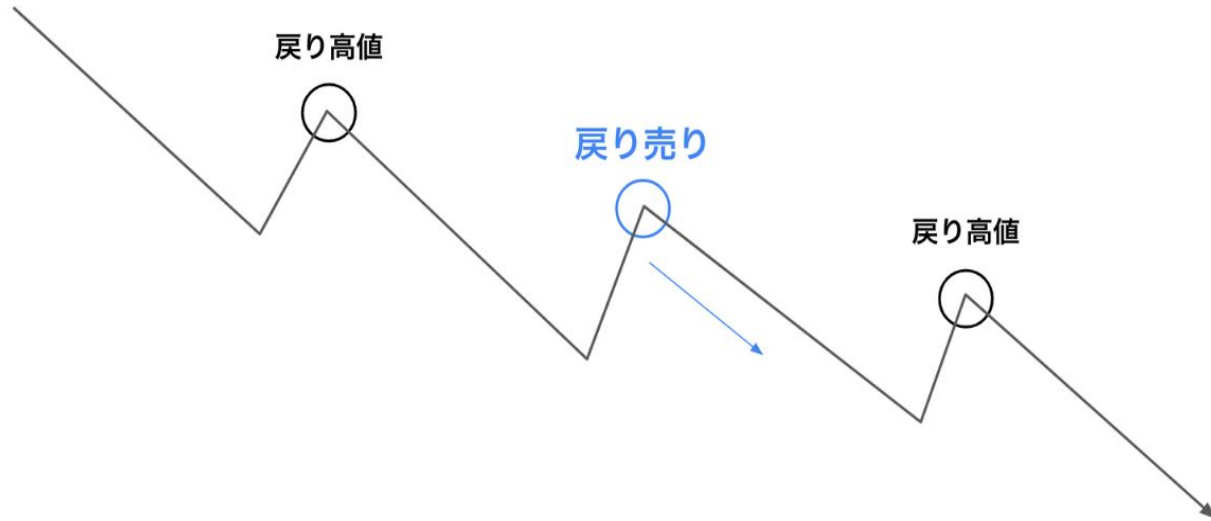
そしてこの**押し安値**のタイミングで
買うことを**押し目買い**と言います。

1話目PDF



下降トレンド中に調整で
一時的に上がってくるタイミングを戻り高値。

1話目PDF



そしてこの**戻り高値のタイミングで**
売ることを**戻り売り**と言います。

1話目PDF

そもそもの話、
チャートはなぜ上下するのか？

1話目PDF

それは、僕たちトレーダーが
買ったたり売ったりしているからです。

1話目PDF

要するに...

1話目PDF

チャートは

需要と**供給**でできているということ！

1話目PDF

買う人が多ければ

チャートは上がっていくし

売る人が多ければ

チャートは下がっていきます。

1話目PDF

トレンドが発生している時は
そのトレンド方向への勢力が強く
価格が一気に伸びていきやすい状態

ということです。

1話目PDF

なので

押し目買いと戻り売りをすることによって...

1話目PDF

**トレンド方向への波に乗り
一撃で大きな利益を取ることができます。**

1話目PDF

1つの時間足だけを見て

押し目買い、戻り売りを

狙い撃ちするのは無謀です。

1話目PDF

なぜかというと！

1話目PDF

**反応が遅れてしまったり
逆に早撃ちしてしまったり
するからです！**

1話目PDF

要するに、

**ベストなタイミングで
エントリーできないからです！**

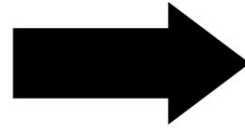
1話目PDF

ここで1つ問題を出します。

1話目PDF

日足のローソク足が1本形成すれば
1時間足では何本のローソク足を形成することになりますか？

日足

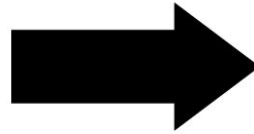


1時間足



1話目PDF

日足=1日1本



1時間足=1時間に1本
24本

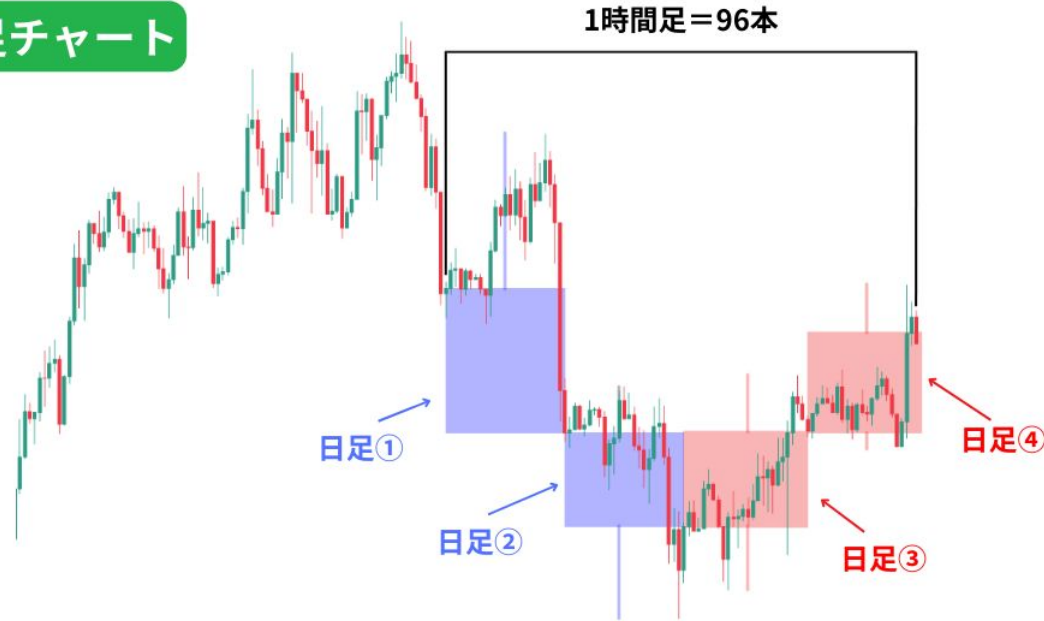


答えは24本です

日足は1日1本ローソク足を形成し
1時間足は1時間に1本形成します。

1話目PDF

1時間足チャート



なので日足のローソク足が4本あれば
その時、1時間足では 24×4 で96本もあります。

1話目PDF

日足チャート



日足で見ればただのローソク足4本ですが...

1話目PDF



1時間足だとローソク足が96本もあって

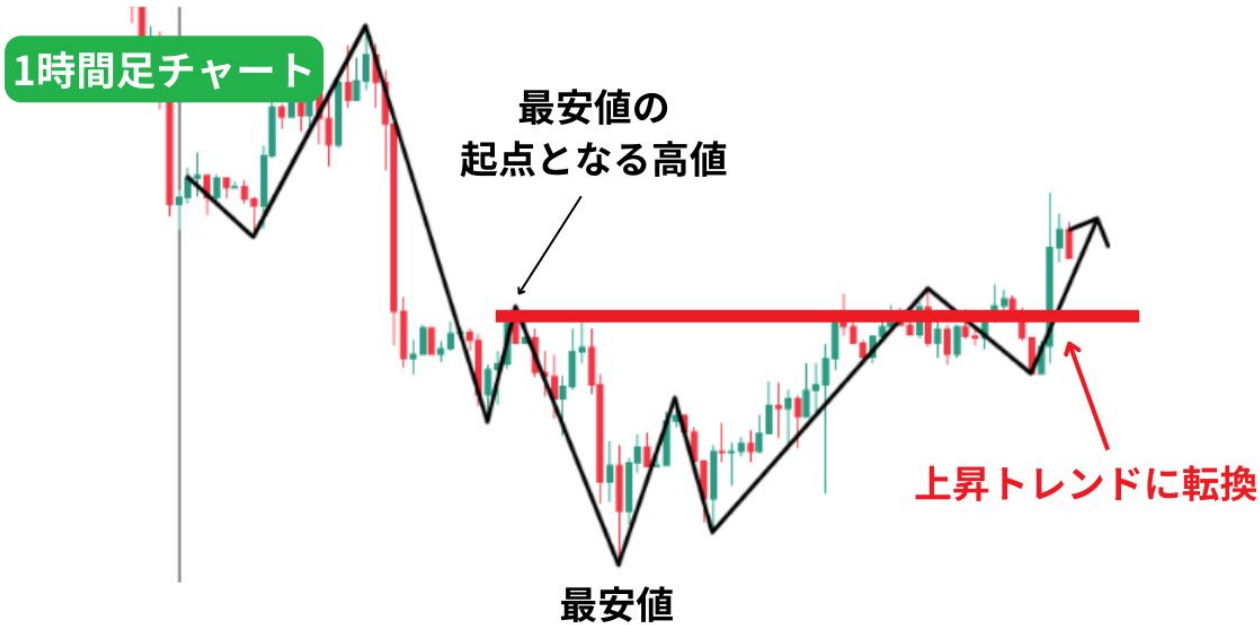
日足では見れない高値安値が形成されています

1話目PDF



高値安値が形成されているということは
上昇下降の**トレンド**が発生していることになります。

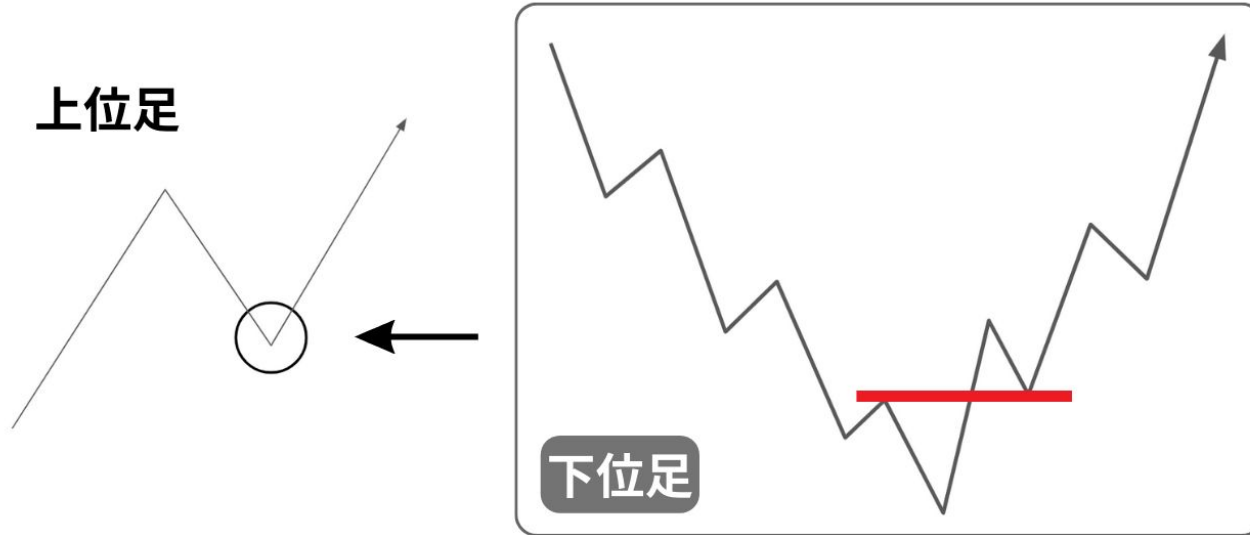
1話目PDF



つまり！**ダウ転換**が1時間足チャートでは
起きている可能性があるということ

そして、実は...

1話目PDF



上位足の反転を作っているのは

下位足のダウ転換(トレンド転換)です。

1話目PDF

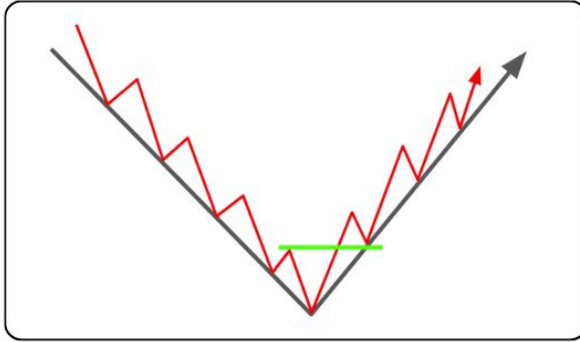
もう一度、記載します。

1話目PDF

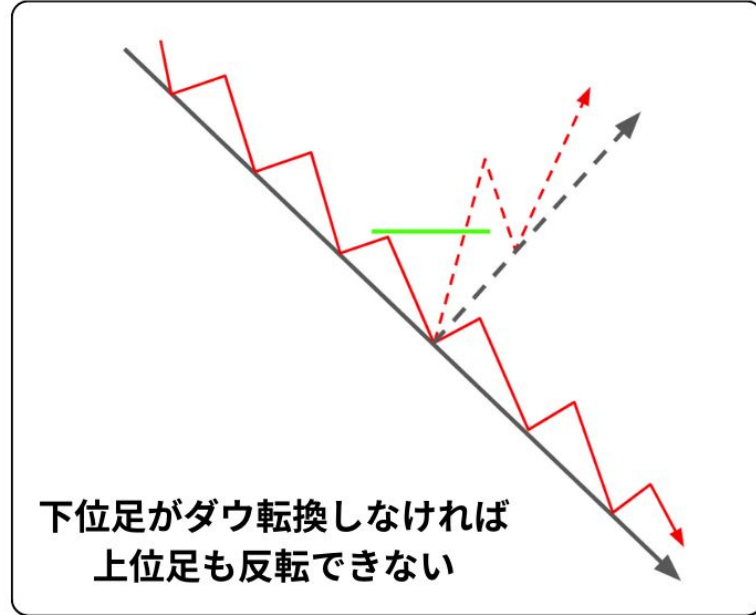
上位足の反転を作っているのは

下位足のダウ転換です！

1話目PDF



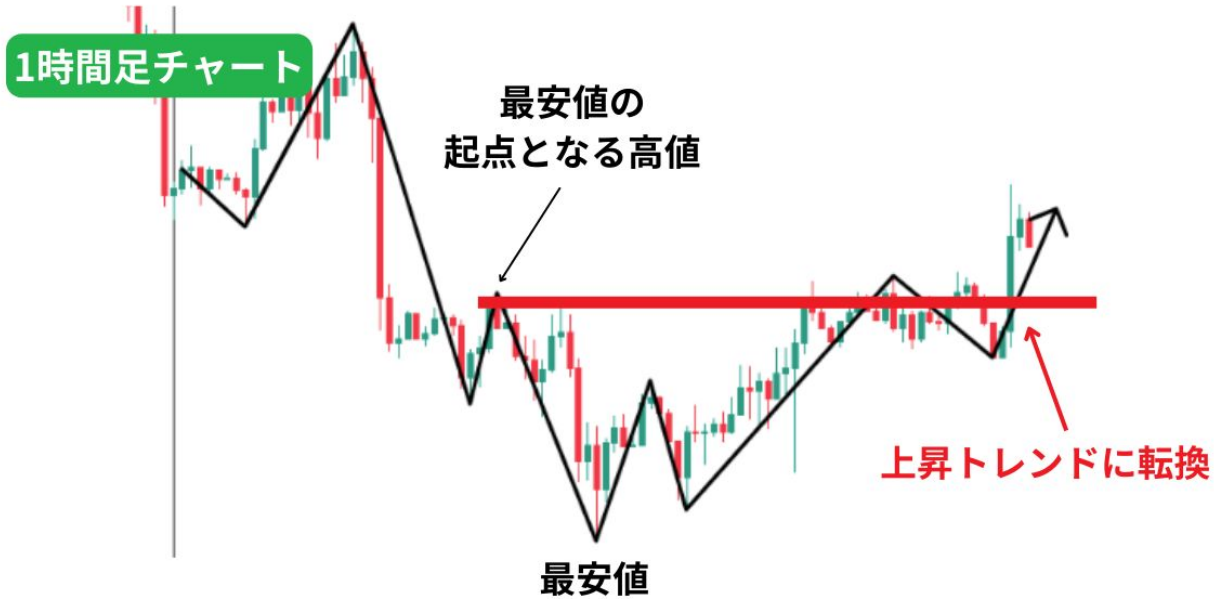
下位足がダウ転換するから
上位足も反転する



下位足がダウ転換しなければ
上位足も反転できない

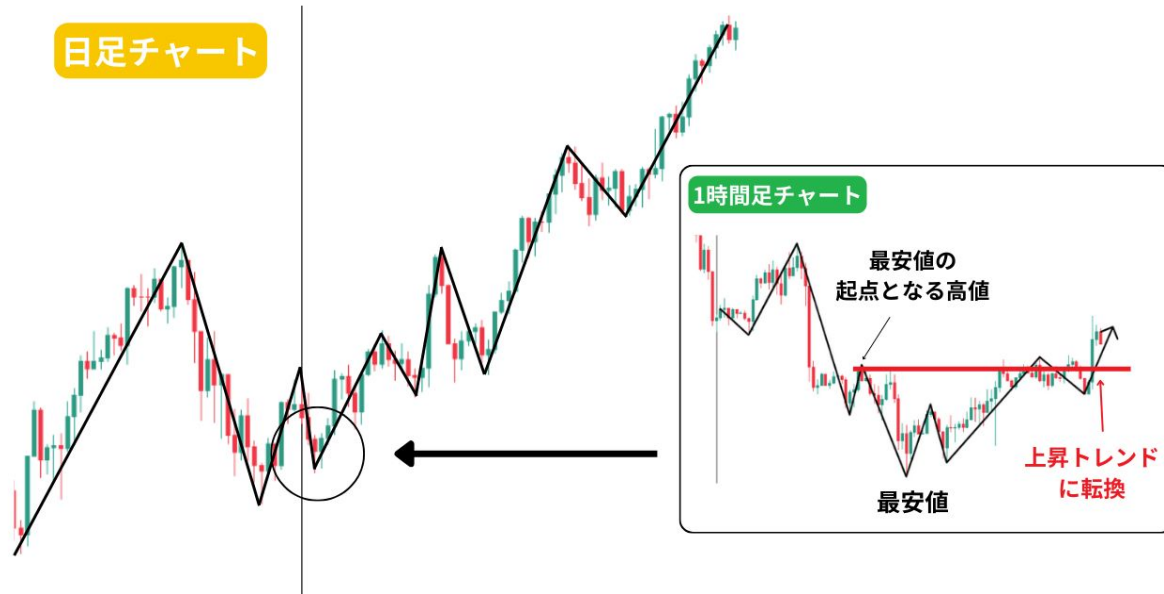
言い換えると、下位足がダウ転換しない限り
上位足も反転できないということです！

1話目PDF



なのでこのように下位足が
下降から上昇にトレンド転換すれば...

1話目PDF



上位足も反転し出す根拠となり、
結果的にそこが押し安値となります。

1話目PDF

つまり！

1話目PDF

上位足だけ見ても

押し安値のタイミングが分からないんです

1話目PDF

しかし、

下位足のトレンド転換を

見ておくことによって

1話目PDF

**最速で上位足の反転根拠が発見でき
ジャストタイミングで押し目買いができます。**

1話目PDF

では続いて、

上位足と下位足

について解説していきます

1話目PDF

正しい

上位足と下位足の組み合わせ

があります

1話目PDF

結論、

2つ下を徹底してください

1話目PDF

どういふことかとうと...

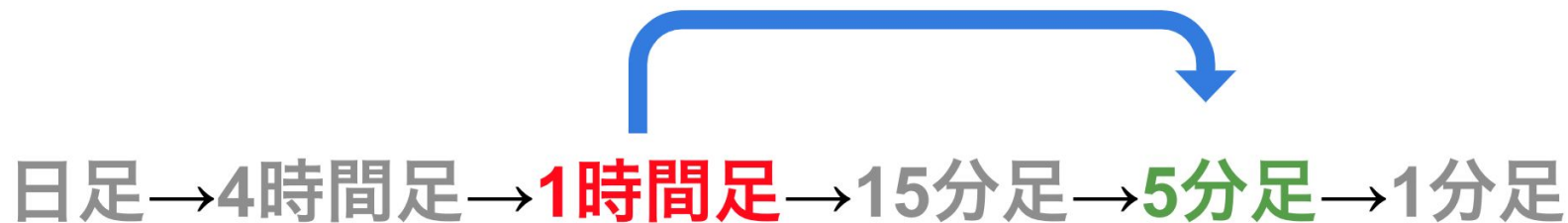
1話目PDF



日足 → 4時間足 → 1時間足 → 15分足 → 5分足 → 1分足

日足を上位足にするなら
下位足はその2つ下の1時間足。

1話目PDF



1時間足を上位足にするなら

下位足はその2つ下の5分足になります

1話目PDF

オススメのセットは

上位足1時間足→下位足5分足か
上位足15分足→下位足1分足です。

1話目PDF

ですが少し難易度が高いため

4時間足や日足を上位足にしてもOKです

1話目PDF

2つ下っていう間隔を絶対に
崩さないことを徹底してください！

1話目PDF

一応言っとくと、

4時間足を上位足にする場合は

15分足が下位足になります。

1話目PDF



30分足は間隔が近すぎるのでカットしています。

1話目PDF

ここからがもっと大事な話です。

1話目PDF

もっと「**ダウ理論×抵抗帯**」の手法
について深掘りしていきます！

1話目PDF

**押し目買い・戻り売りの
方法は理解できたと思いますが**

1話目PDF

これだけの知識だと、

ずっと下位足のチャートを見続けて
ダウ転換するのを待たないといけないの？

と思いますよね？

1話目PDF

それだとしんどいですよと...

1話目PDF

そこで **抵抗帯**の登場です！

抵抗帯とは...？

1話目PDF

「ここで反発するであろう」

というゾーンのことです。

1話目PDF

先に抵抗帯をチャートに引いておくことで

1話目PDF

「今後この抵抗帯付近でトレンド転換しそうだな」

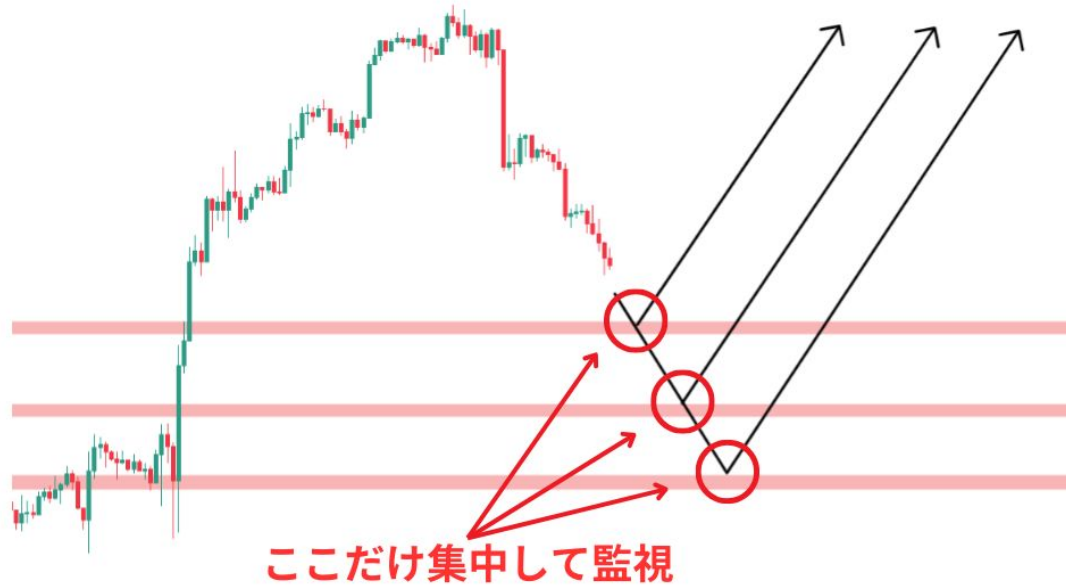
という押し目・戻り目の**目安**ができます

1話目PDF



例えばこのように、
抵抗帯を事前に3本引けたとすると

1話目PDF



この3本の抵抗帯付近に価格が近づいてきた時だけ
下位足チャートでダウ転換するかしないかを確認するだけで済みます。

1話目PDF

ただ1つ注意してほしいことがあります。

1話目PDF

本やSNSで言われているような、

1話目PDF

「過去によく反発してる所に引きましょう」

とか

「高値と安値に引いとけば大丈夫」

とか

「レジサポになってるところに引きましょう」

1話目PDF

みたいな引き方をしても意味がありません！

1話目PDF

「なぜここで反発しやすいのか？」

というように抵抗帯も本質から
理解しないといけません。

1話目PDF

結論、引くべきポイントは**3つ**です。

1話目PDF

①直近高値と直近安値

②ダウ転換が起きた押し安値と戻り高値

③ダブルトップ、ダブルボトムネックライン

②と③には共通点があります

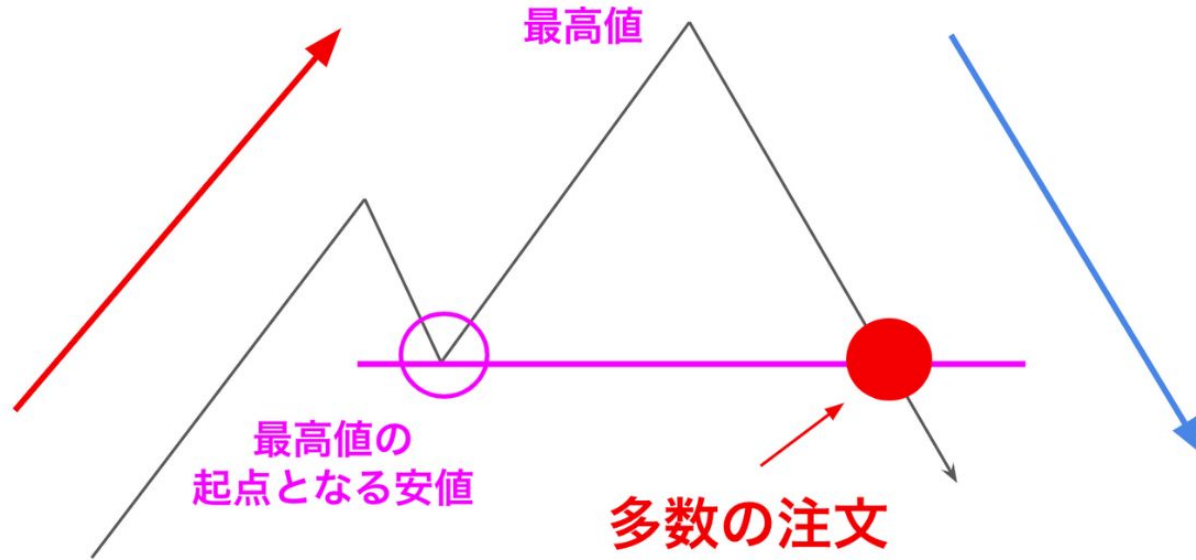
1話目PDF

それは、

トレンドが転換されているタイミング

になっているということです。

1話目PDF

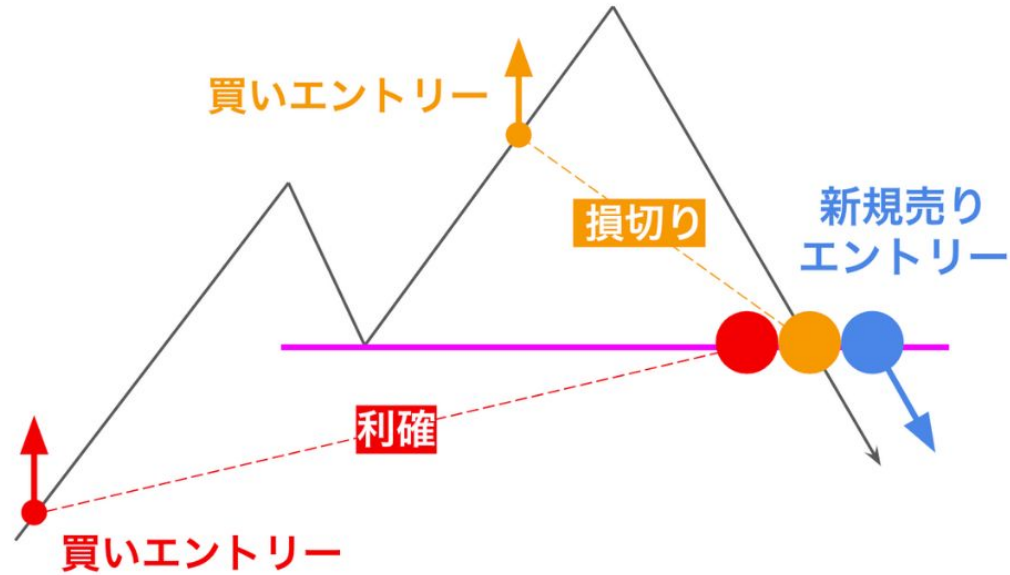


トレンドが転換する場所には、
エントリーや決済といった**多数の注文が集まります。**

1話目PDF

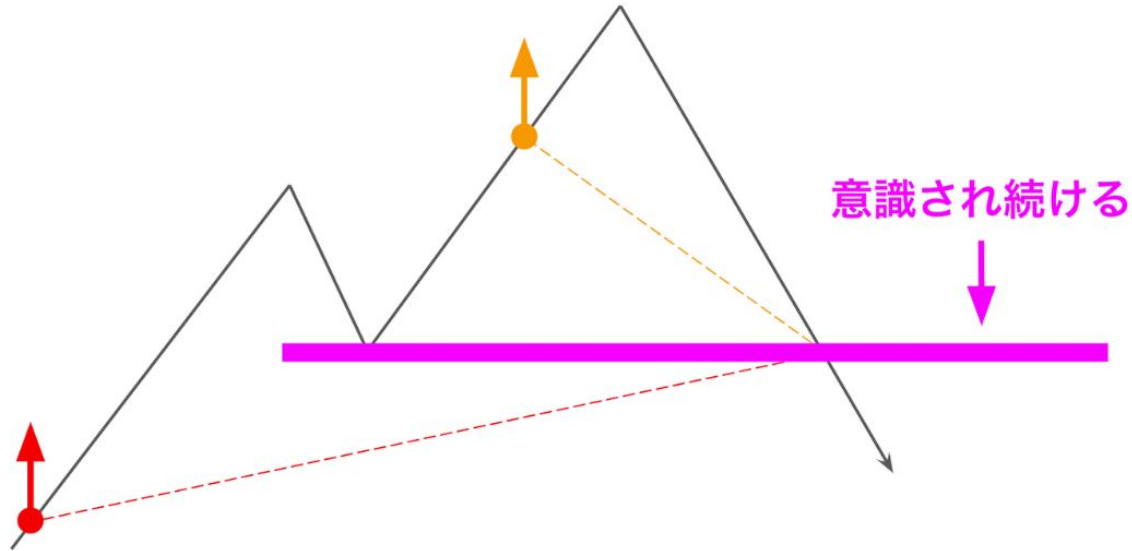
例えば上昇トレンドから下降トレンドに転換すれば、

1話目PDF



既に関いエントリーをしていたトレーダーの利確や損切り
新たに新規の売りエントリーなどの注文が集まります

1話目PDF

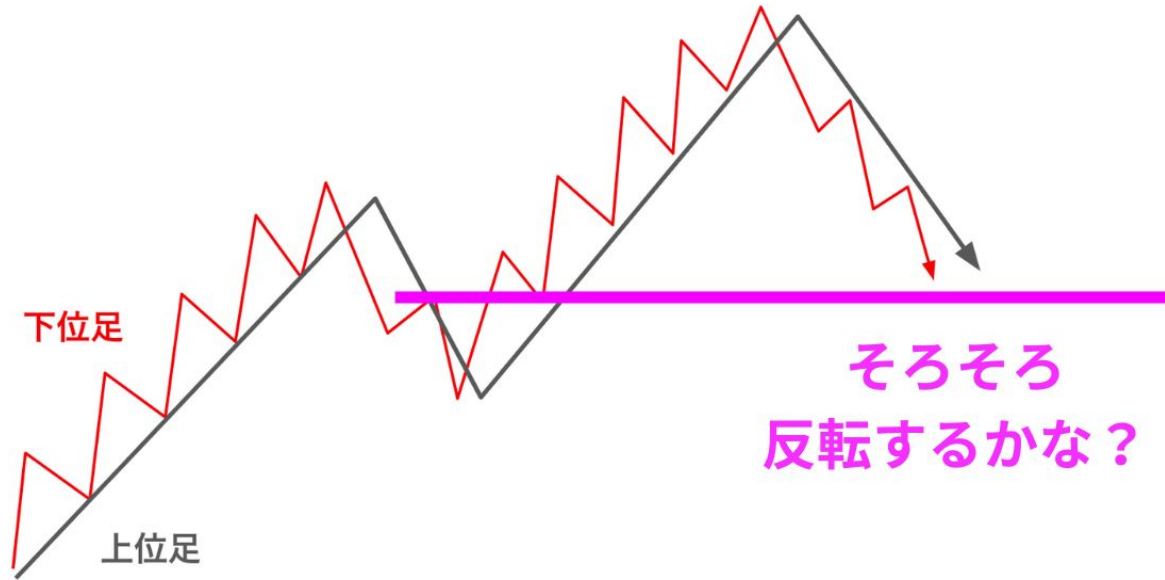


そしてこの注文が多く集まった場所は
意識され続けて反発する可能性の高い抵抗帯となります。

1話目PDF

話を戻して、

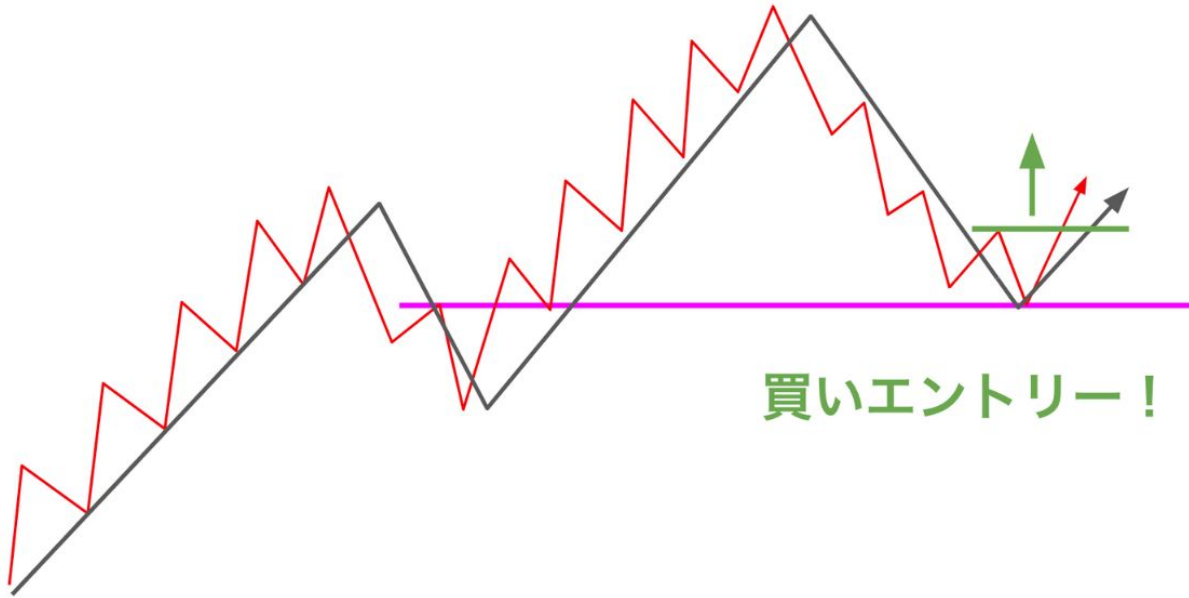
1話目PDF



抵抗帯付近で

下位足がダウ転換するかどうかを集中して見て

1話目PDF



買いエントリー！

**下位足がダウ転換すれば
買いエントリーができるということです。**

1話目PDF

これが**ダウ理論×抵抗帯**の全てです！

2話目PDF

ダウ理論×抵抗帯の手法を 実際のチャートでガチ解説



2話目PDF

まず環境認識レベルを上げるために
移動平均線を活用します！

2話目PDF

移動平均線とは

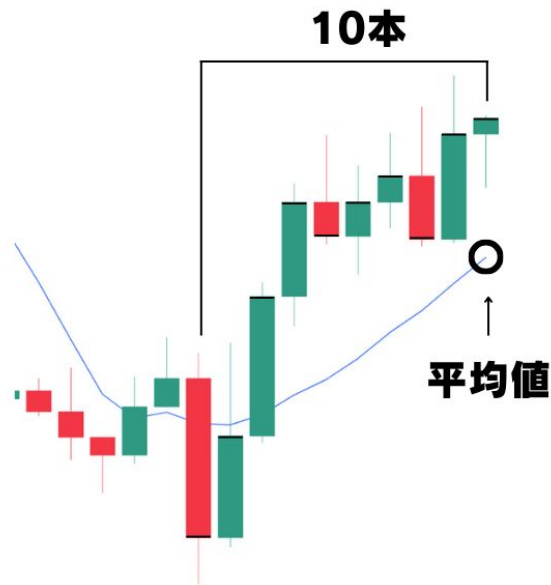
相場の方向性や勢いを表示する

世界で最も使われているインジケータです。

2話目PDF

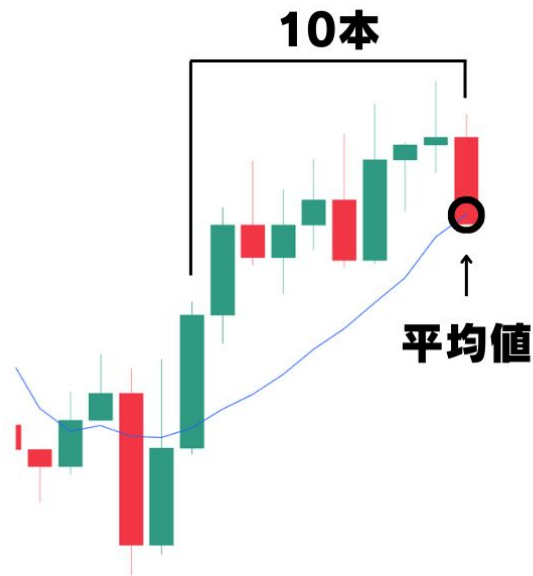
ある一定期間のローソク足の
終値を平均している線です。

2話目PDF



移動平均線の期間を10に設定した場合、
10本分の終値の平均値を求めています。

2話目PDF



そして、ローソク足が更新される毎に
平均値同士を線で結び続けていくことによって
期間10の移動平均線がチャートに反映されることとなります。

2話目PDF



期間を30にすればローソク足30本分

2話目PDF

60本



期間を60にすればローソク足60本分

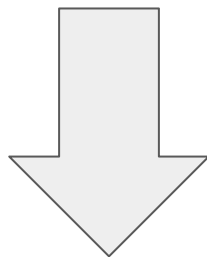
2話目PDF

つまり期間を長くすればするほど

移動平均線はなだらかな曲線を描く線になります。

2話目PDF

移動平均線の上にローソク足が位置していれば、
現在価格が平均値よりも高く上昇している事になるため
買いたいトレーダーが増えます。

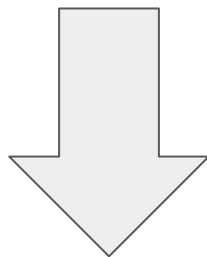


2話目PDF



2話目PDF

そして、その買いを狙っているトレーダーは
できるだけ安い所で買おうとするため
平均値となる**移動平均線をギリギリ下回らない所**で買い注文を入れます



2話目PDF



2話目PDF

そうする事で価格はあたかも

移動平均線で反発

したかのように再度上昇していきます。

2話目PDF

これが

移動平均線が抵抗帯として意識される理由

でもあります！

2話目PDF

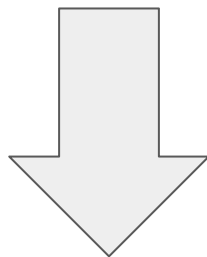
そして、ローソク足が移動平均線を
下抜けた時にトレンド転換した
と言われる理由も同じで、

2話目PDF

平均値を下回るという事は、

それだけ買いたいトレーダーが減った事を意味し、

買いから売りへトレーダーの目線が切り替わるからです。



2話目PDF



しかし！これはそもそも、

2話目PDF

移動平均線を使っているトレーダーが多い
+
抵抗帯として意識しているトレーダーが多い

からこそ反発しやすいだけであって、
必ず反発すると思い込むのはNGなので
ダウ理論も必ず確認するようにしてください。

2話目PDF

移動平均線のオススメ期間や本数があります！

短期、中期、長期のEMA4本です！

短期:20

中期:60

長期:120

長期:200

2話目PDF

なぜこの数値がオススメかというと

多くのトレーダーも

この期間に近い設定にしているからです！

2話目PDF

多くのトレーダーが同じ設定にしているという事は
大勢が同じところを意識することになるので、
自然と大衆心理と自分の心理が合致するようになります！

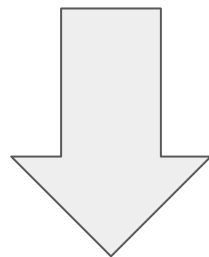
それでは
実際のチャートも見ていきましょう！

2話目PDF

まずは上位足の環境認識をします。

上位足を日足とした場合、

ダウ転換が起きて**高値安値も切り上げている**ので
上昇トレンド中と判断できます。

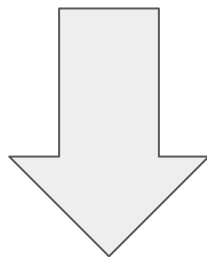


2話目PDF



2話目PDF

更に今説明した移動平均線を表示させると
価格は移動平均線よりも上に位置しており
買いの方が圧倒的に優勢状態と分かります。



2話目PDF



2話目PDF



次はこの調整の波がどこまで落ちてきて

押し安値となるのかの目安が欲しいので**抵抗帯**を引いていきます！

**抵抗帯の引き方を
おさらいとして詳しく説明しておく、**

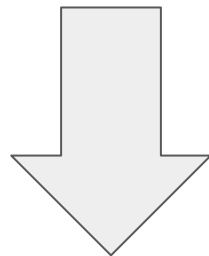
2話目PDF

step 1

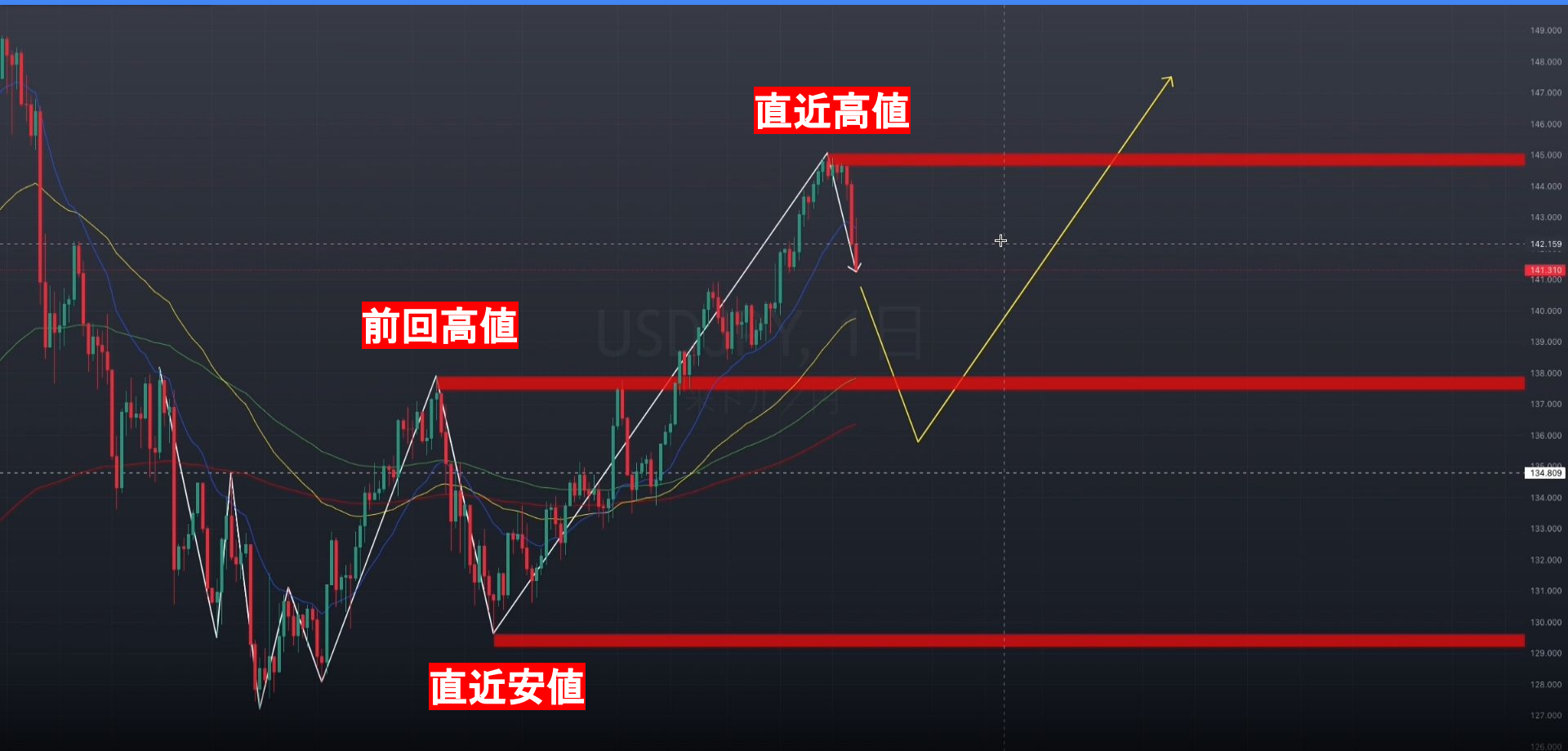
上位足の直近高値と直近安値

+

前回高値(綺麗に形成されている場合)



2話目PDF

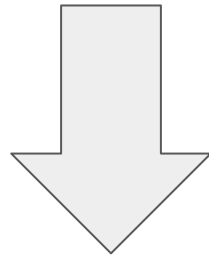


2話目PDF

step2

この高値と安値の中に隠されている

1つ下の時間足(4時間足)のトレンド転換の起点



2話目PDF

高値圏

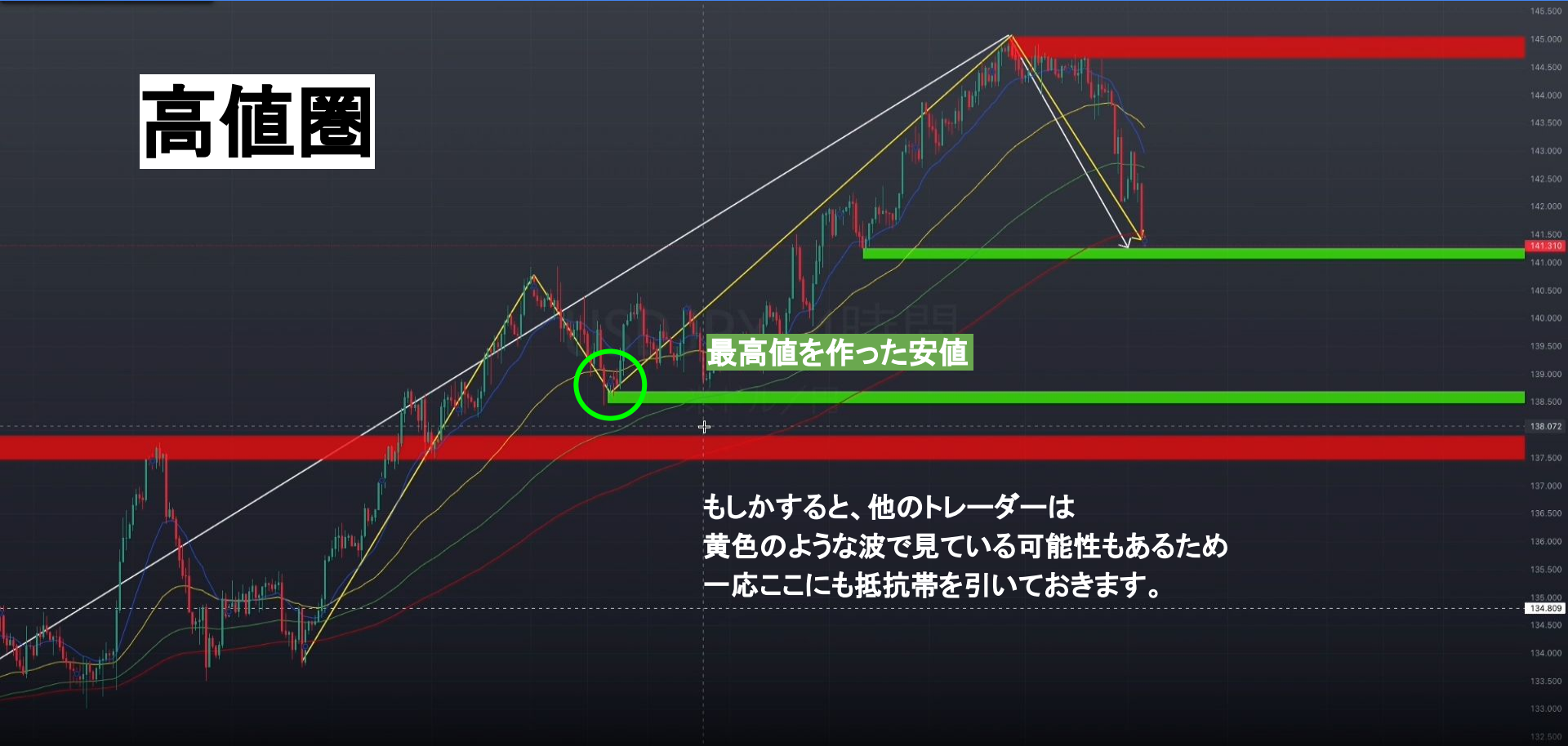


最高値を作った安値

145,500
145,000
144,483
144,000
143,500
143,000
142,500
142,000
141,800
141,310
141,000
140,500
140,000
139,500
139,000
138,500
138,000
137,500
137,000
136,500
136,000
135,500
135,000
134,809
134,500
134,000
133,500
133,000
132,500

2話目PDF

高値圏



最高値を作った安値

もしかすると、他のトレーダーは黄色のような波で見ている可能性もあるため一応ここにも抵抗帯を引いておきます。

2話目PDF

安値圏



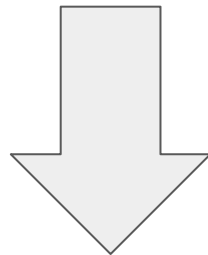
2話目PDF

step3

もう1つ時間足を落として1時間足も見ていきます！

4時間足と同じく

直近高値安値の中のトレンド転換に引きま

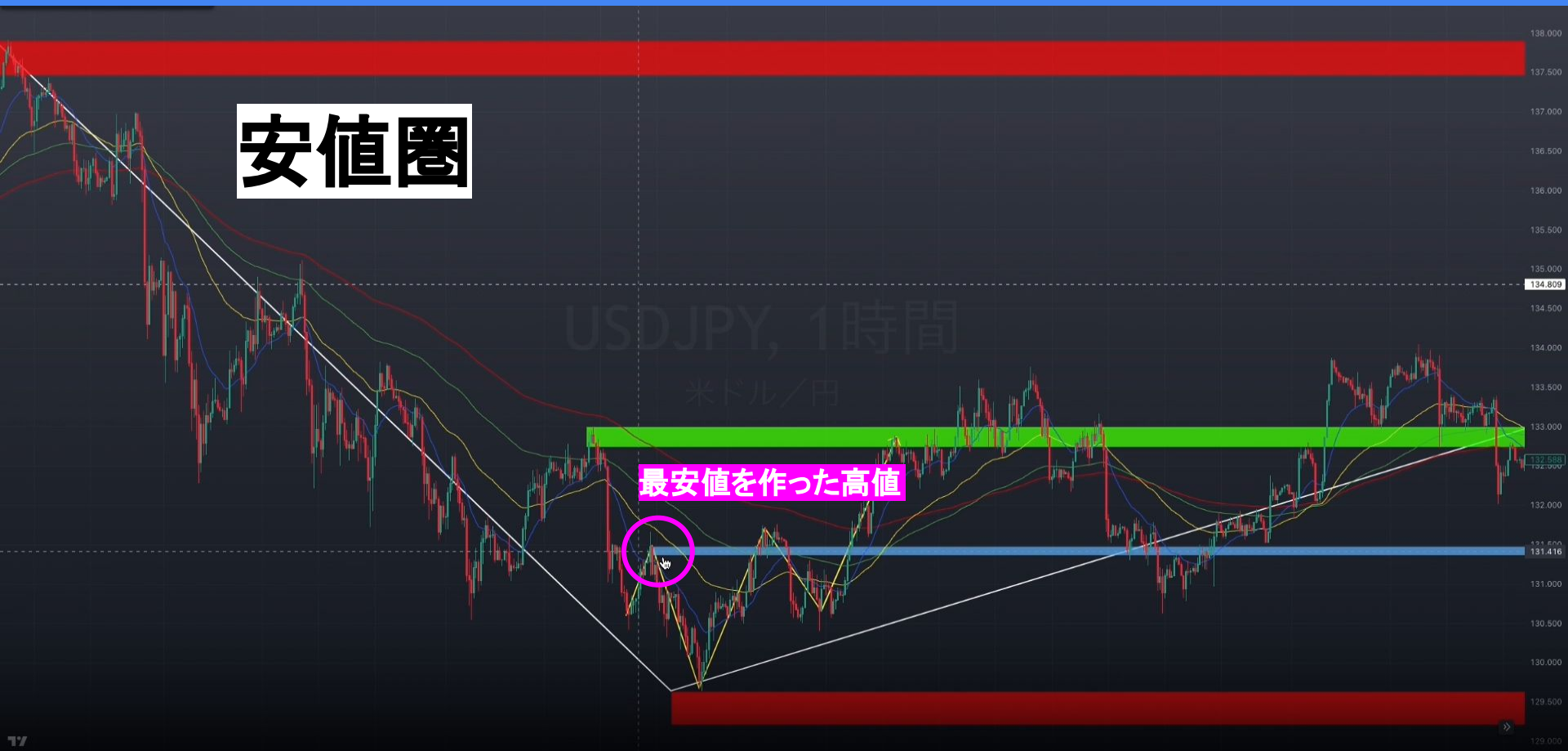


2話目PDF

安値圏

USDJPY, 1時間
米ドル/円

最安値を作った高値

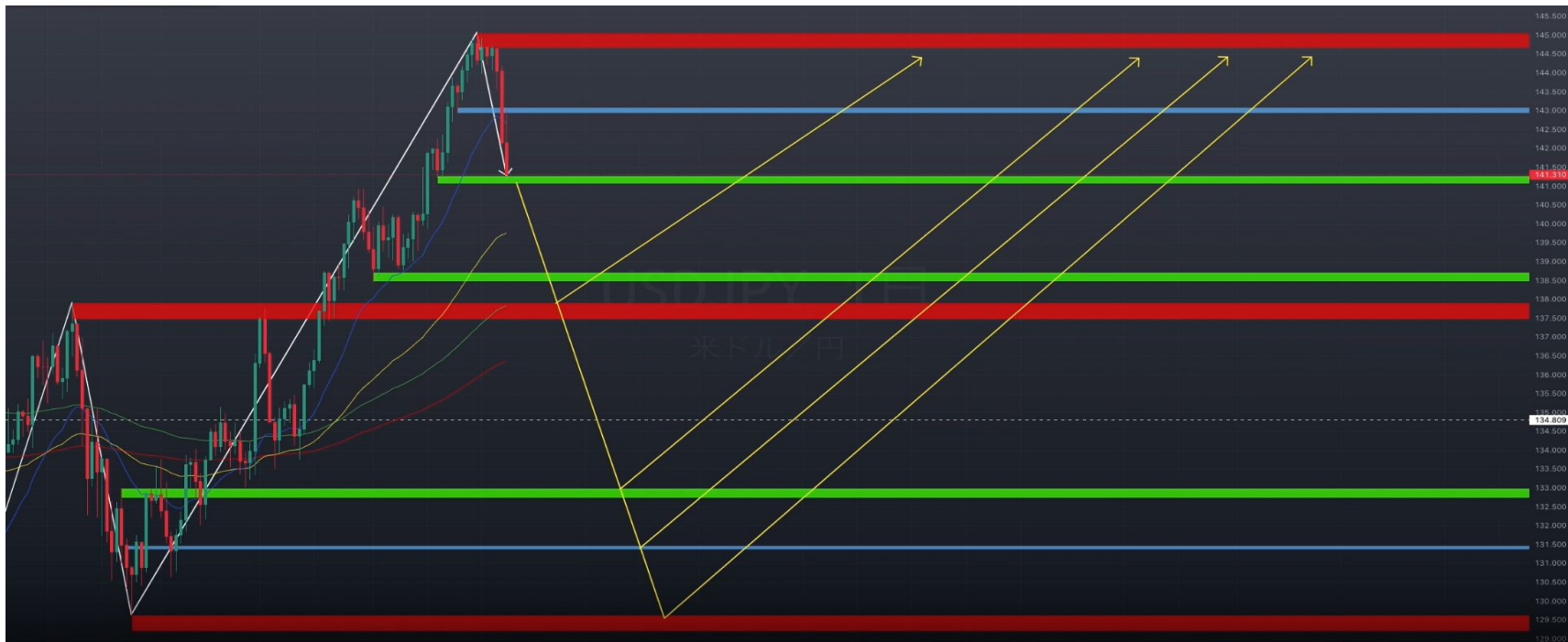


2話目PDF

高値圏



2話目PDF



これで抵抗帯が引けてシナリオも完成しました！

2話目PDF

**しかし、初心者の方は、
この抵抗帯を完璧に引くのがなかなか難しいと思います。**

2話目PDF

そんな方のために便利なツールとなる

フィボナッチリトレースメント

を紹介します！

2話目PDF

フィボナッチは抵抗帯と同じで
トレンド発生時の一時的な押し目や戻り目が
どこで上げ止まるか、どこで下げ止まるかを
予測することができるテクニカル指標です。

2話目PDF

使い方は超簡単で、

上昇の起点となった安値から直近高値まで伸ばすだけです。

下降トレンドの場合は

下降の起点となった高値から直近安値に伸ばすだけです。

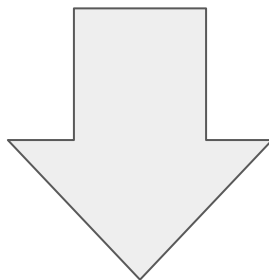
2話目PDF

各%で表示されるラインの中でも注目してほしい数値は

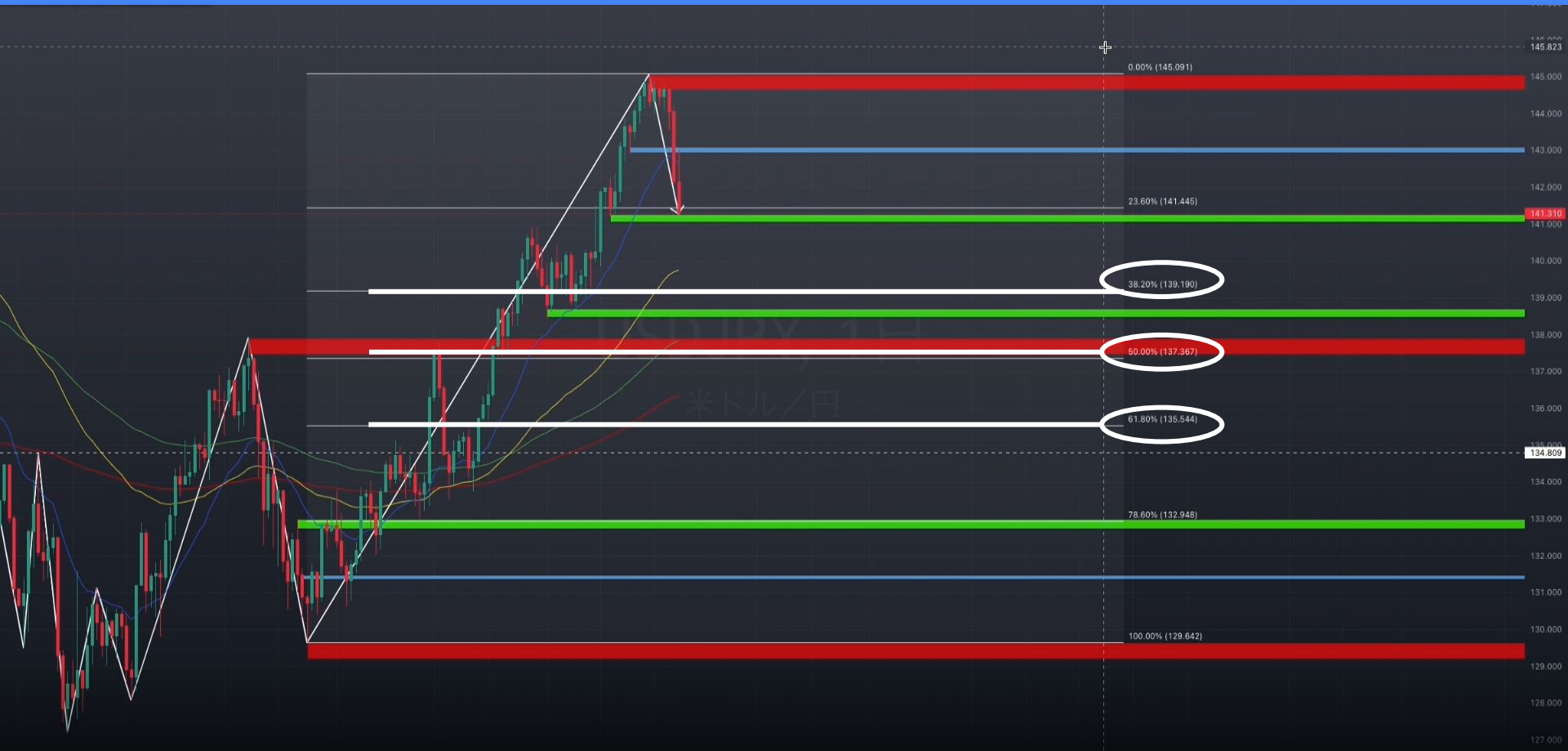
38.2%と50%と61.8%です。

この3つのライン付近がトレンド最中の

押し目・戻り目になりやすいです！



2話目PDF



2話目PDF

先ほど引いた日足の赤色抵抗帯と
50%ラインが被っているため
更に反転しやすい**根拠が強まりました。**

2話目PDF

このように、

抵抗帯を引くのがまだ自信ないって方は

フィボナッチも併用してみてください！

2話目PDF

これで**反転しそうな場所**はある程度分かりました。

2話目PDF

しかし！

2話目PDF

ただ単に、

**抵抗帯やフィボナッチのラインに
価格がタッチしたからエントリー！**

みたいな事をしてはいけません。

2話目PDF

そんなエントリーだと

パチンコをしているのと同じです！



2話目PDF

なぜなら！

抵抗帯はただの

反転するであろう

という目安にすぎないからです。

2話目PDF

要するに、

抵抗帯やラインに価格がタッチしただけでは
エントリーできる根拠にならないということです。

2話目PDF

じゃあ何がエントリー根拠なの？

2話目PDF

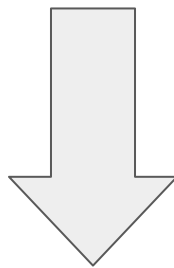
エントリー根拠となるのは、

下位足のダウ転換です！

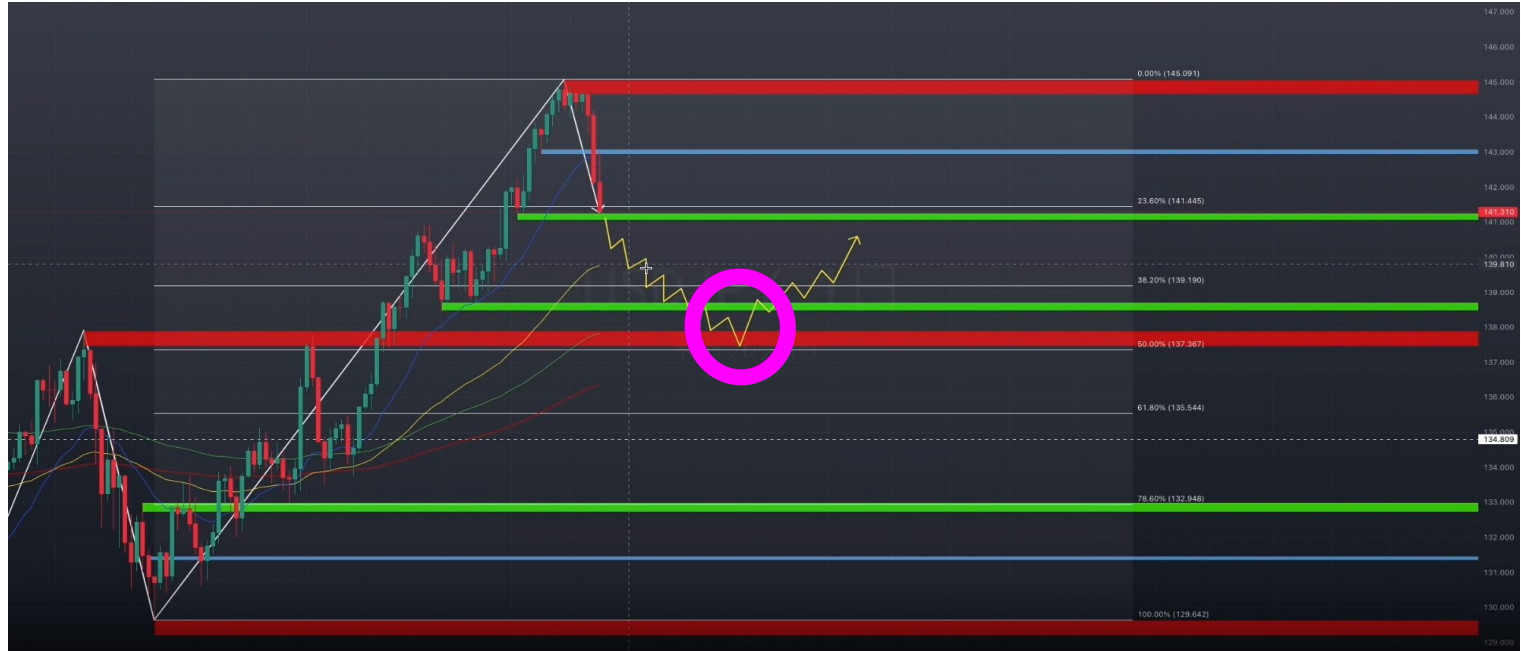
2話目PDF

つまり！

下位足の1時間足で下降から上昇に
ダウ転換すればエントリーできるということです。



2話目PDF



このように下位足が、下降から上昇にダウ転換すればエントリーできます。

2話目PDF



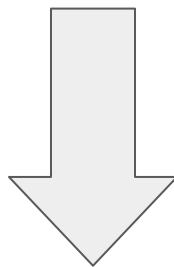
下位足がダウ転換しなければ、上位足も反転できないからです。

2話目PDF

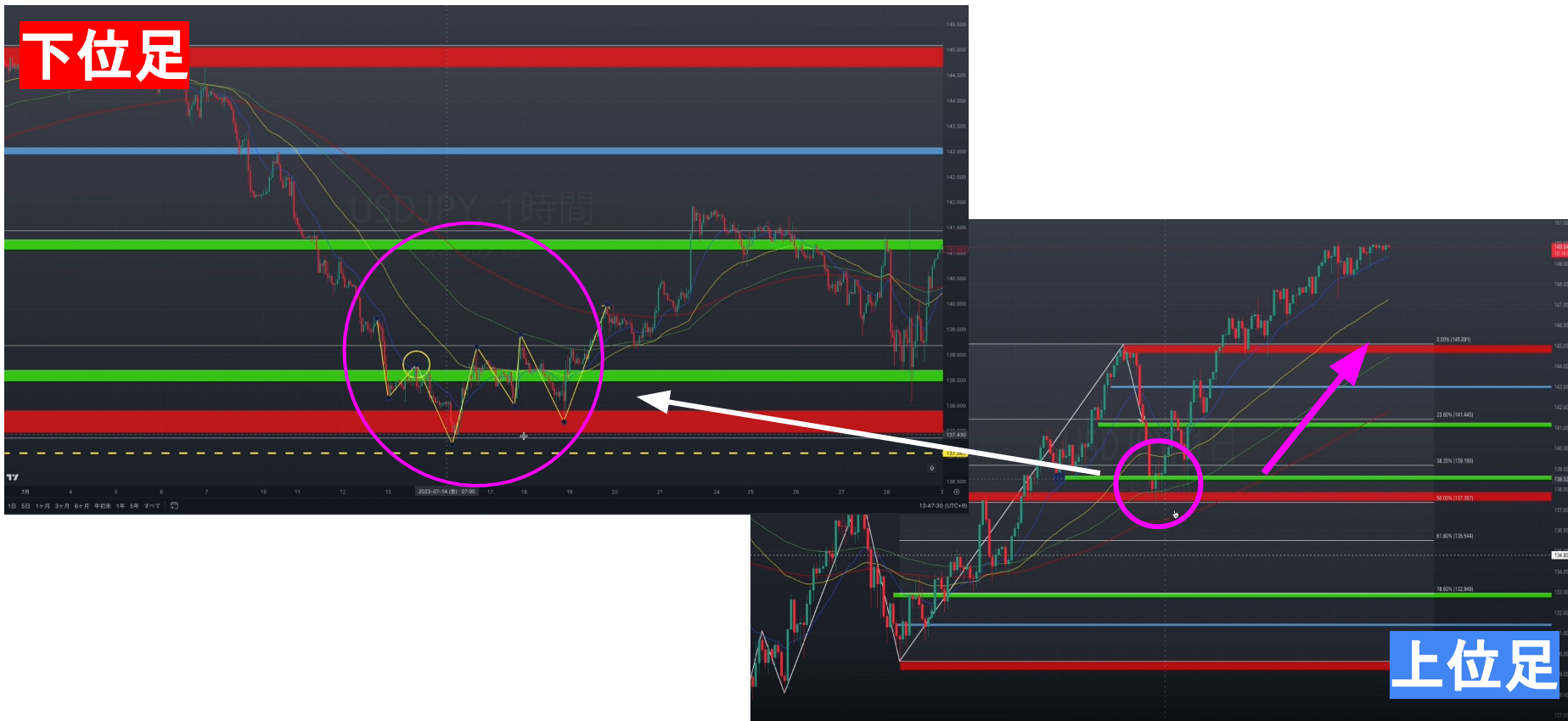
結果的に

抵抗帯付近で下位足がダウ転換し

上位足も反発して押し安値となりました。



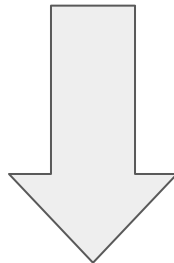
2話目PDF



2話目PDF

そして、損切りは

安値(黄色点線)を抜けてきた所に設定してください。

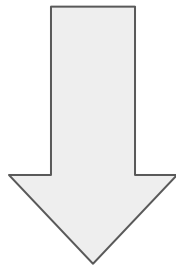


2話目PDF

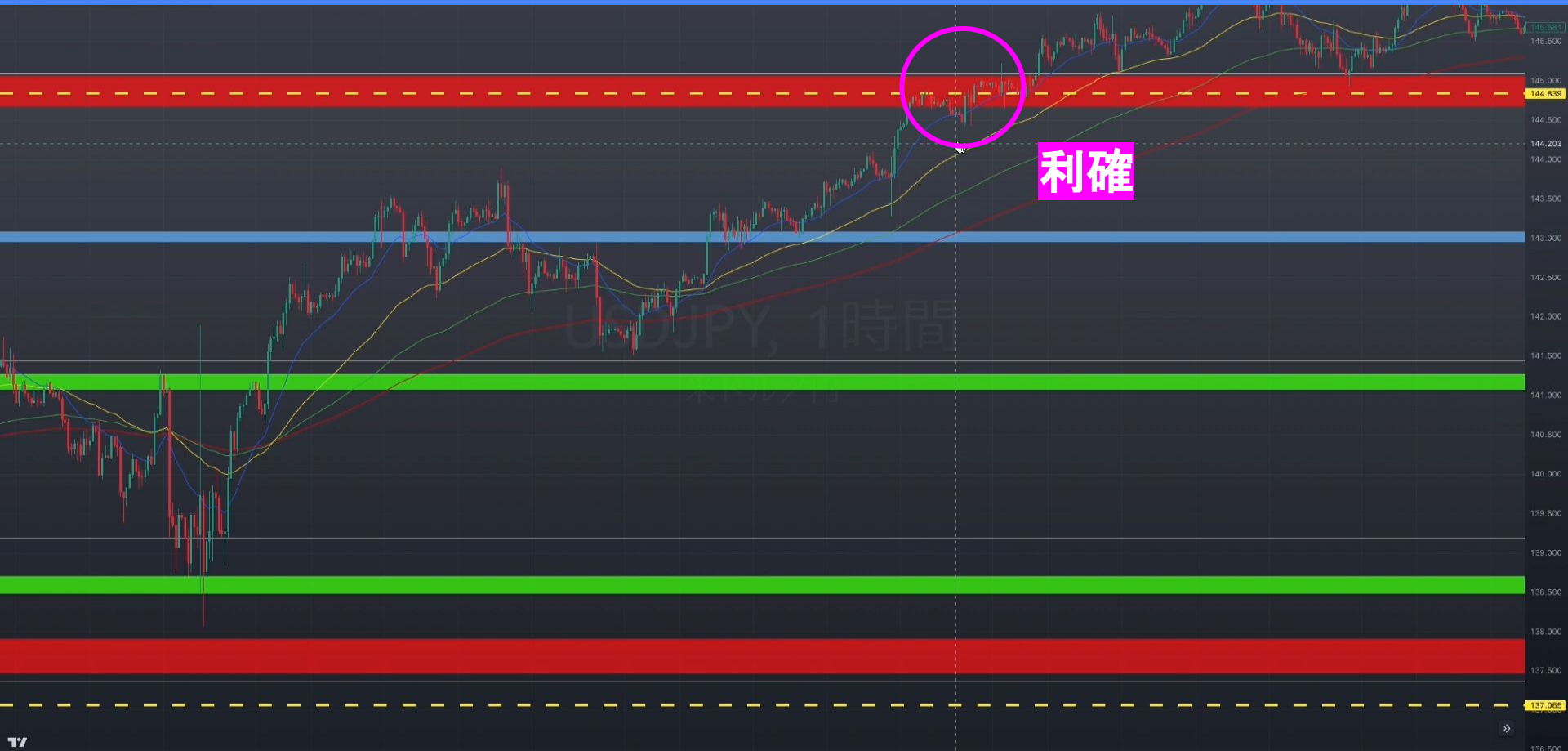


利確に関しては

直近高値(黄色点線)まで伸びてきた場所です。



2話目PDF



利確

2話目PDF

**ただ、直近高値に到達すれば
必ず利確しないといけない訳ではありません。**

2話目PDF

利確もエントリーと同じで、
直近高値まで価格が到達したとしても

下位足が高値安値を切り上げ続けているなら

まだ利益を伸ばすことができます。

2話目PDF

しかし、直近高値まで伸びてきた時点で
リスクリワードがかなり良くなっているはずなので
到達した時点で利確しても問題ないということです！

2話目PDF

**ダウ理論×抵抗帯の手法を実際のチャートで
より細かくより深く徹底解説しました！**

理解できるまで何度も見てください！

2話目PDF

この手法が身につけば
明らかにチャートの見え方が今までと違い
鮮明にそして明確に見えるはずです！



3話目PDF

負け組トレーダーが
共通してやっちゃっている



【NG行為7選】

3話目PDF

この7つを排除すれば

損失が **1/10** 減少し

自然と利益が増えていくようになるので

必ず覚えておいてください！



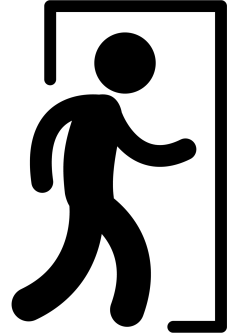
3話目PDF

【①損切りをしない】

3話目PDF

①損切りをしない

FXで負ける人の
1番の原因と言っても過言ではありません。



**損切りができなければ
遅かれ早かれほぼ100%の確率で相場から退場します...**

3話目PDF

①損切りをしない

損切りできない人は

「いつか戻ってくる」

という**根拠のない妄想を期待**しているのだと思います。

3話目PDF

①損切りをしない

そんなことをしたら

FXで勝ち続けることは100%無理です。

3話目PDF

①損切りをしない

「いつかは戻ってくる」

とそんなに強く思うのであれば

3話目PDF

①損切りをしない

一旦損切りして、

またエントリーし直せばいいだけです。

3話目PDF

①損切りをしない

でもそれができないという事は...

3話目PDF

①損切りをしない

戻ってくることを
期待してただ祈っているだけ
と言えます。

3話目PDF

①損切りをしない

FXの基本ルールは損小利大のトレードです

3話目PDF

①損切りをしない

この言葉に”**損小**”と
入っているのはなぜかと言うと

3話目PDF

①損切りをしない

どんなに凄いトレーダーでも

損失を0にすることは不可能だからです！

3話目PDF

①損切りをしない

損失は絶対に発生します。

3話目PDF

①損切りをしない

だからこそ、

その損失をいかに小さくするかが

トレードで勝つ秘訣ですよ

という事を言葉そのものが

丁寧に伝えてくれているんです！

3話目PDF

①損切りをしない

FXは未来の値動きを予測するものなので...

3話目PDF

①損切りをしない

「勝率100%」

なんてものは絶対にありえません！

3話目PDF

①損切りをしない

**勝ち組トレーダーは相場が
想定していた動きと違う動き方をした時、**

すぐに損切りして資金を守り次のチャンスに備えます

3話目PDF

①損切りをしない

損失は最小限に抑えて

利益はできるだけ大きく

これを徹底すれば、
トータル利益が残ることを僕達は知っています。

3話目PDF

①損切りをしない

逆に負け組トレーダーは

**1回1回の勝負にこだわり
自分のポジションに思い入れを持ち、**

3話目PDF

①損切りをしない

「いつかは戻ってくる」

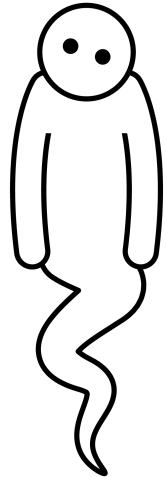
**などと期待をして損切りできず
含み損をドンドン拡大させてしまいます。**

3話目PDF

①損切りをしない

仮に何回かはそれで助かったとしても、
いずれ戻ってこない時が必ず来ます。

その時に全資産を飛ばして終了です。



3話目PDF

①損切りをしない

これが損切りできない人が必ず通る悲惨な末路...

必ず損切りをするようにしてください！

【②固定の損切り幅】

【②固定の損切り幅】

①では損切りの重要性を伝えましたが
ただ損切りすれば良いってものでもありません。

3話目PDF

【②固定の損切り幅】

損切りの固定pipsとは

毎回「**20pips逆行したら損切り!**」

みたいに最初から固定するやり方です。

3話目PDF

【②固定の損切り幅】

なぜ固定の損切り幅にすることがダメかと言うと...

3話目PDF

【②固定の損切り幅】

トレードの基本原則としては、

ポジションを建てるだけの理由があるからエントリーし

ポジションを持つ理由がなくなったら決済する。

3話目PDF

【②固定の損切り幅】

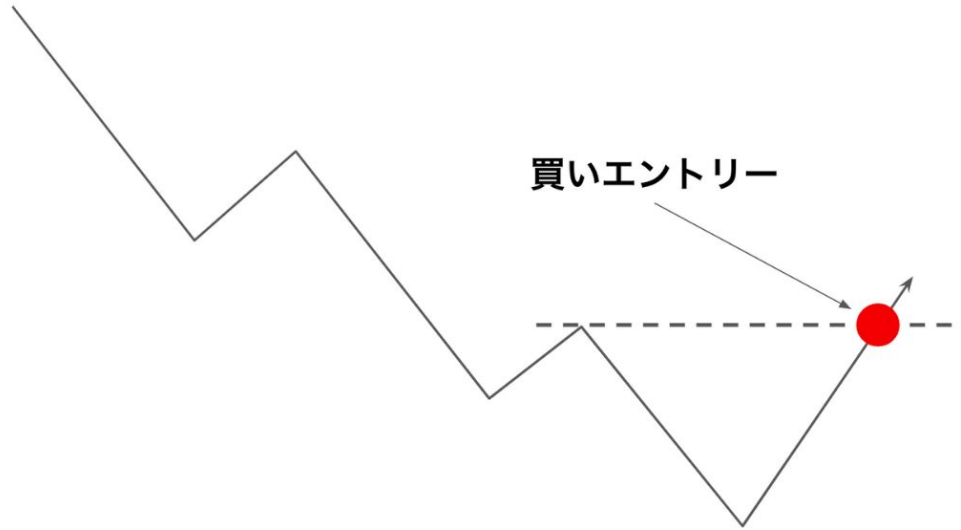
なので、自分がエントリーした
根拠が崩れるところで
損切りをしないといけないんです！

【②固定の損切り幅】

ダウ理論で説明すると、

3話目PDF

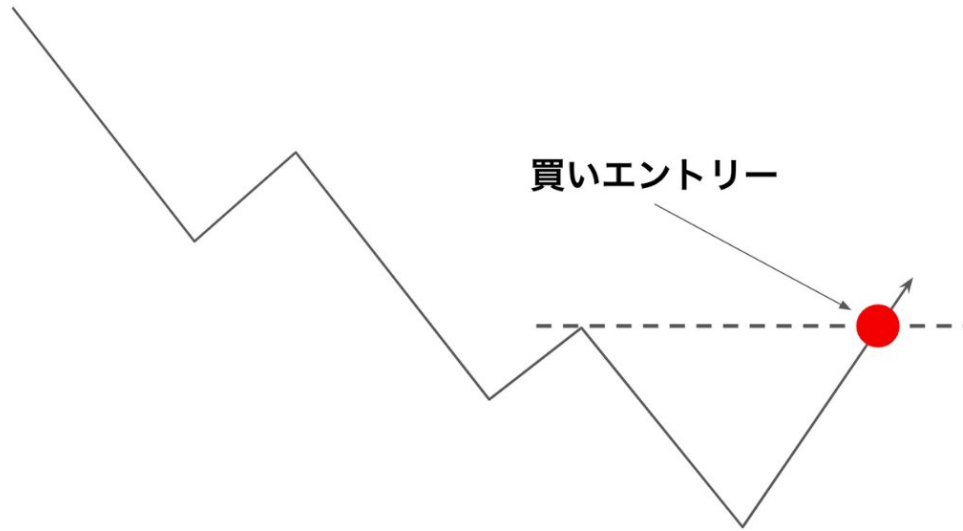
【②固定の損切り幅】



まずこの下降から上昇にダウ転換したタイミングで買いエントリーをします。

3話目PDF

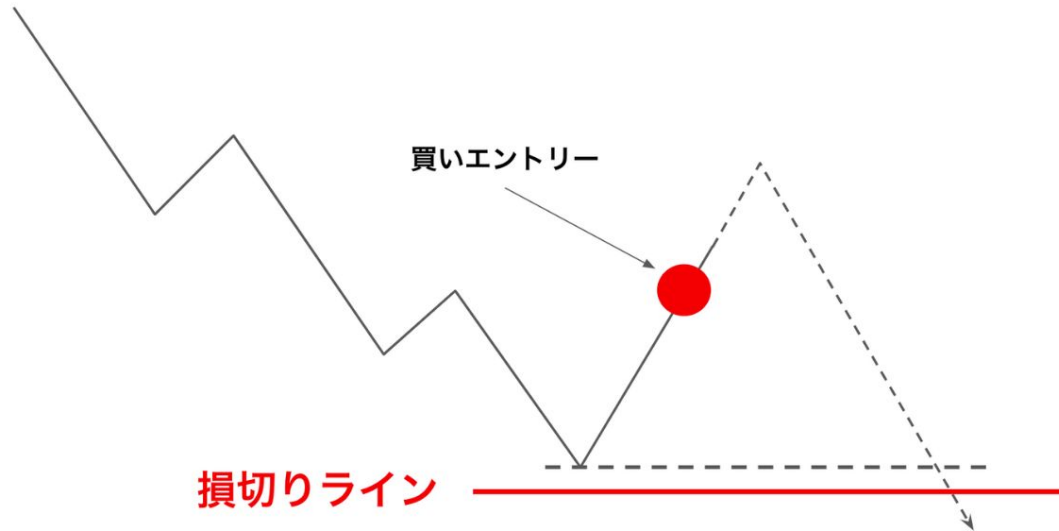
【②固定の損切り幅】



これの逆で、上昇トレンドが下降トレンドに転換するのは
最高値の起点となった安値のラインを割ったらでしたよね？

3話目PDF

【②固定の損切り幅】



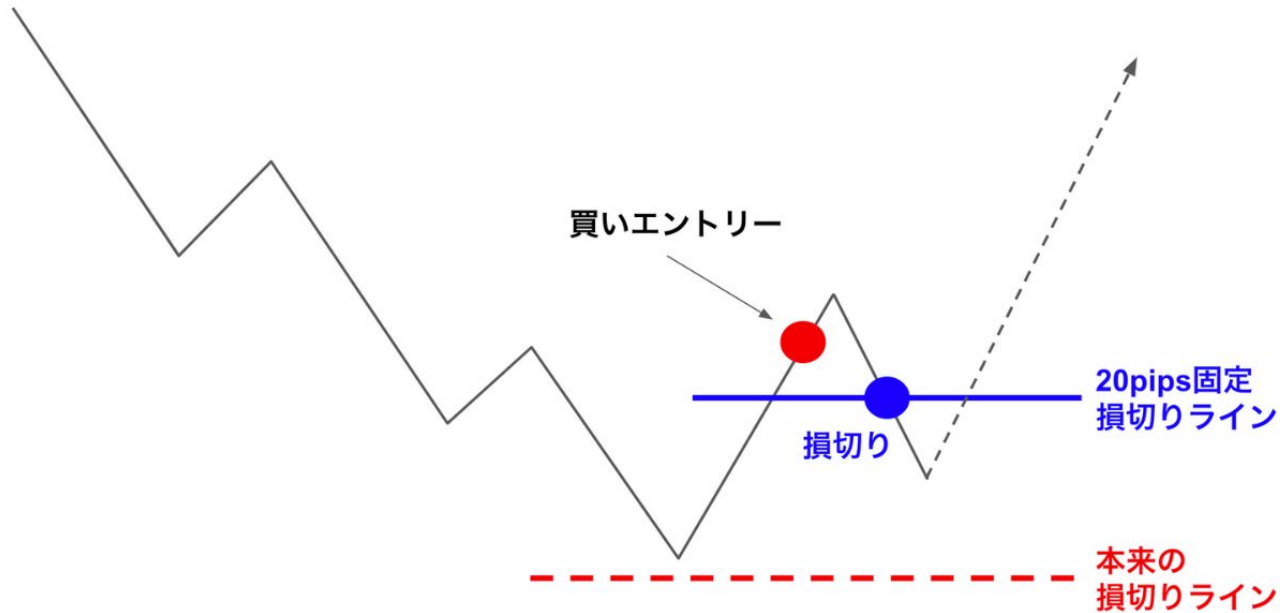
なのでこの安値の下に損切りを置くだけです。

【②固定の損切り幅】

仮に損切りを固定にしてしまうと...

3話目PDF

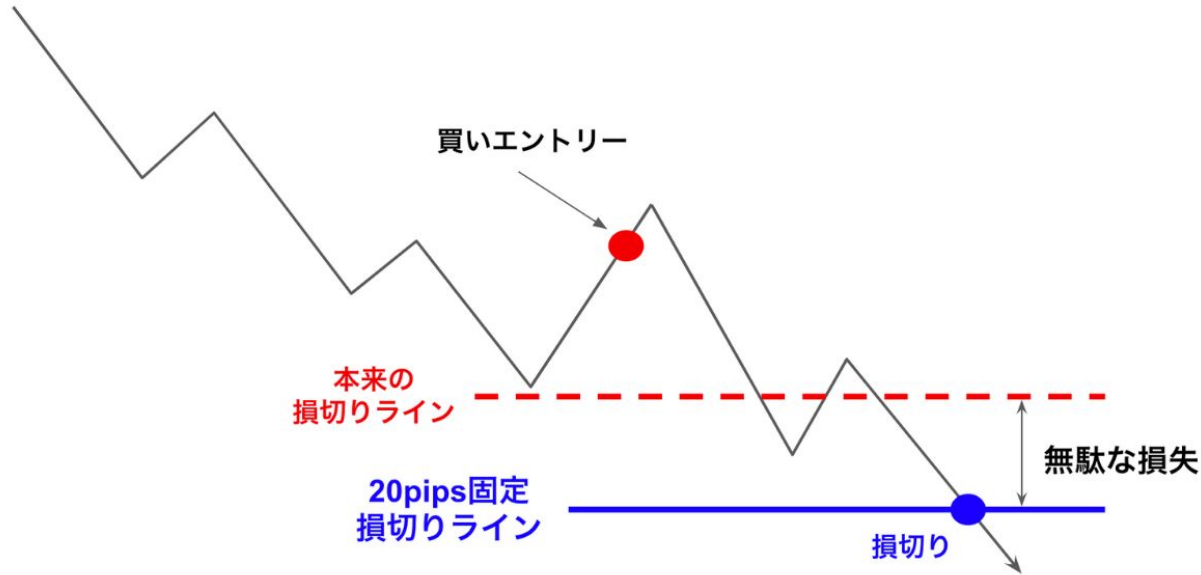
【②固定の損切り幅】



この場合、ダウ転換が起きていなくて
まだ上がる可能性があるのに損切りしてしまい、もったいないことになります。

3話目PDF

【②固定の損切り幅】



この場合は、ダウ転換が起きて負け確定なのに無駄に損失を増やしてるだけになります。

3話目PDF

【②固定の損切り幅】

損小利大のトレードをするには、

固定pipsで損切りせずに

分析の根拠を元に損切り位置を決めるようにしてください！

【③形だけ覚える】

3話目PDF

【③形だけ覚える】

みんな大好きなチャートパターン...

確かにチャートパターンは簡単そうだし
エントリーポイントも明確ですよ。

3話目PDF

【③形だけ覚える】

しかし冷静に考えてください。

3話目PDF

【③形だけ覚える】

本当に2つの山のダブルトップを

見つけるだけで稼げると思いますか？

3話目PDF

【③形だけ覚える】

それで勝てたら

全員が億万長者になれますし
小学生でもできちゃいますよね。



3話目PDF

【③形だけ覚える】

チャートパターンは確かに便利ですが、
忘れてはいけない**大切な条件が1つ**あります！

3話目PDF

【③形だけ覚える】

その条件は...

「出てくる場所」です。

3話目PDF

【③形だけ覚える】

ただ単に

チャートパターンが形成されたからエントリー

という行動をしても

思ったように機能せず即逆行することがほとんどです。

3話目PDF

【③形だけ覚える】

例えば！

3話目PDF



上位足の4時間足が上昇トレンド中で

3話目PDF



下位足の15分足でダブルトップを形成したとすれば、

3話目PDF



おそらく多くの負け組トレーダーは売リエントリーをしてしまいます。

3話目PDF



なぜかと言うと、

ダブルトップという形が出現すると**相場が下がる**と思っているからです。

3話目PDF



確かにダブルトップが形成されると下降する可能性は高まりますが、
4時間足(大きい波)は上昇トレンド中です。

3話目PDF



そんな相場環境の中で
ダブルトップの形だけ見てエントリーしても **すぐに反転して損切りにかかってしまいます。**

3話目PDF

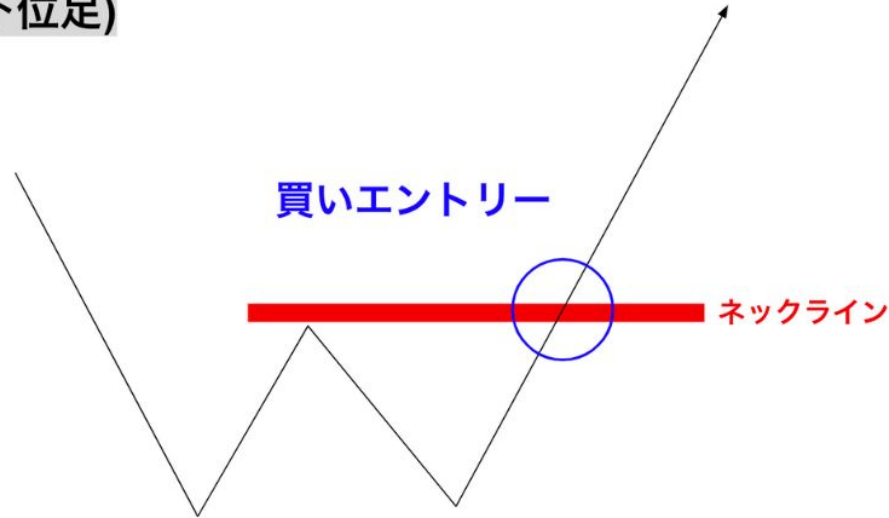


上位足が上昇トレンド中であれば

大抵のトレーダーは買いを狙ってるので上昇が継続する相場になるという事です。

3話目PDF

15分足(下位足)



逆に、15分足で**ダブルボトム**が形成された時に**買いエントリー**するのが正解です！

3話目PDF

【③形だけ覚える】

上位足が上目線かつ、
下位足も下目線から上目線に切り替わる時は

勢いよく伸びて大きい値幅の利益が取れます。

3話目PDF

【③形だけ覚える】

このように、

チャートパターンは出てくる場所で

取れる値幅も大きく変わります！

3話目PDF

【③形だけ覚える】

これからは出てくる場所も意識して
チャートパターンを使うようにください！

【④過去検証していない】

3話目PDF

【④過去検証していない】

今あなたはなぜその手法を使ってるんですか？

と聞くと、

3話目PDF

【④過去検証していない】

「なんとなく」とか

「YouTubeや本に載ってたから」

と答えると思います！

3話目PDF

【④過去検証していない】

それでは何年かかっても
自分のトレードに自信を持つことが出来ず
メンタルがブレブレになります。

【④過去検証していない】

自信をもってトレードするためには...

3話目PDF

【④過去検証していない】

過去検証をした上で手法を使わないといけません。

3話目PDF

【④過去検証していない】

FXで本当に勝てる手法を身につけたいなら
過去検証は絶対に避けては通れません。

3話目PDF

【④過去検証していない】

過去検証とは...

3話目PDF

【④過去検証していない】

自分の手法を
過去チャートに当てはめテストし、
継続して勝ち続けることが
できる手法なのかをチェックすることです。

3話目PDF

【④過去検証していない】

過去のチャートですら勝てない手法が
リアルタイムのチャートで
使えるはずがありませんよね？

3話目PDF

【④過去検証していない】

まず**過去チャート**で1日20ヶ所、
自分の手法に沿って
エントリーポイントを探してください。

3話目PDF

【④過去検証していない】

その結果、過去チャートでの勝率が

50%未満でリスクリワードも悪く

トータル利益が残らない手法は捨ててください。

3話目PDF

【④過去検証していない】

チャートの動きはあくまでランダムですが
ある程度同じような動きを繰り返しています。

3話目PDF

【④過去検証していない】

過去で勝ち続けることが出来たなら、
リアルタイムでも勝ち続けられます！

逆に過去で勝てなかったらリアルでは勝てません！

【⑤色々な手法を使う】

【⑤色々な手法を使う】

手法はスポーツと似ています。

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

例えば野球とサッカーとラグビーを
同時に始めて全部極められる人はいないはず。

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

大抵の場合、全て中途半端になってしまい
結局どれも上達しないことになります...

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

なのでまずは1つ！

この手法を極める！っていうものを決めて

それだけを磨いていくべきです！

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

それ以外は

全て捨ててください。

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

「プロトレーダーは色々な手法を使って
複雑に分析している」

と勘違いされますが、
全然そんなことはありません。

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

めちゃくちゃシンプルに

チャートを見てトレードしています。

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

確かにプロトレーダーの
チャート画面は複雑に見えたりしますが
これはただ**応用テクニック**が増えただけです。

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

例えば、野球を極めた人が
次は少し似てるソフトボールをやってみたり、

サッカーを極めた人が
フットサルをやってみたりという感じで、

【⑤色々な手法を使う】

あくまで**1つ1つそれに近いもの**を
応用的に広げていった結果、

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

最初に使っていた手法が

グレードアップされて

複雑な手法に見えているだけです。

3話目PDF

【⑤色々な手法を使う】

最初から全部取り入れようとせずに

まずはたった1つのシンプルな

手法を極めるようにしてください！

【⑥資金管理がテキストー】

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

資金管理が出来ないのであれば

「パチンコをやった方がお金が増える」

と言えるくらいFXでは大事なものです！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

いくらエントリーと決済が上手くても

この資金管理ができていないと

一生かかっても利益は増えていきません。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

最初の頃は大袈裟なくらい意識してください。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

しかし！この資金管理をかなり
曖昧なままやっている人が多いと思います...

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

- ・何も考えずに0.1lotで固定している
- ・今回は自信があるエントリーだから1lot

3話目PDF

【⑥資金管理がテキトー】

こんなやり方をしていると、

いくら資金があっても足りませんし

効率的に資金が増えていきません。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

なので、超簡単に

資金管理の方法 **3STEP** をご紹介します！

【⑥資金管理がテキスト】

その前に！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

pipsと**ロット**についても説明しておきます。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

pipsとは

チャートでいう**縦軸**となる**値幅の共通単位**です。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

なぜこの共通単位のpipsが存在するかというと

FXの通貨ペアは色々あり

値幅の話をする時に、

3話目PDF

【⑥資金管理がテキトー】

ドル円の場合は1ドル何円動いた

ユーロドルの場合は1ユーロ何ドル動いた

ユーロポンドの場合は1ユーロ何ポンド動いた

3話目PDF

【⑥資金管理がテキトー】

という感じで、

値幅の単位がバラバラ

でよく分かりませんか？

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

なのでpipsという、

どの通貨ペアでも

どれだけの値幅かが分かりやすい共通単位があるんです。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

「そしたら**1pipsの位**ってどこなの？」

って疑問に思いますよね？

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

まず覚えておいて欲しいのは、
どの通貨ペアも価格が6桁表記になっているということです。

【ドル円】 → 141.155

【ユーロドル】 → 1.10110

【ポンド円】 → 155.430

【⑥資金管理がテキスト】

そして！その6桁の...

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

下2桁目が1pipsの位、

下3桁目が10pipsの位、

下4桁目が100pipsの位

と決まっています！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

【ドル円】 → 1 4 1 . 1 5 5
1pips

【ユーロドル】 → 1 . 1 0 1 1 0
1pips

【ポンド円】 → 1 5 5 . 4 3 0
1pips

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

【ドル円】 → 1 4 1 . 1 5 5
10pips

【ユーロドル】 → 1 . 1 0 1 1 0
10pips

【ポンド円】 → 1 5 5 . 4 3 0
10pips

3話目PDF

【⑥資金管理がテキトー】

【ドル円】 → 1 4 1 . 1 5 5
100pips

【ユーロドル】 → 1 . 1 0 1 1 0
100pips

【ポンド円】 → 1 5 5 . 4 3 0
100pips

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

では続いて、
ロットについても説明していきます！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

ロットとは何か？

を1から説明すると長くなりすぎるので

実践で必ず覚えておかないといけない

ところだけを説明します！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

まずロットというのは**取引数量**のことで、

どれだけの量を買うのか売るのかという

賭け額だと思ってください！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

海外口座であれば、

0.01lot ~ 0.1lot ~ 1lot ~ 10lotと

幅広くロットの設定ができます。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

この各ロットでエントリーした後、

1pips動くと何円変動するのか

を必ず覚えておかないといけません。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

1pips動いた時の変動金額

0.01lot=10円

0.1lot=100円

1lot=1,000円

10lot=10,000円

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

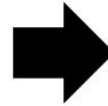
1pips動いた時の変動金額

0.01lot=10円

0.1lot=100円

1lot=1,000円

10lot=10,000円



国内口座の場合

1lot=100円

10lot=1,000円

100lot=10,000円

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

これを理解した上で
資金管理の**3STEP**を説明していきます

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

step1: **資金の5%の損失許容額を出す**

例えば、FX口座に50万円の資金があるとしたら

その5%なので【 $50\text{万円} \times 0.05 = 25,000$ 】

25,000円が損失許容額。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

step2: エントリーポイント～損切りのpipsを計算

②のNG行為でも話しましたが、

エントリーごとによって

損切り位置は違うので損切り幅も当然変わります。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

step2: エントリーポイント～損切りのpipsを計算

仮に今回は損切り幅30pipsだったとします。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

step3: **ロット計算**

最後のステップでは

それに見合ったロットを計算して終了です！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

step3: ロット計算

例えば今回の例だと、

25,000円の損失許容額と

30pipsの損切り幅が出ています。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

step3: **ロット計算**

この2つを割り算すると...

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

step3: ロット計算

25,000円(損失許容額)÷**30pips**(損切り幅)=**833.3333...**

1pips動けば833円変動すると分かりました！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

step3: ロット計算

1pips動いた時の変動金額

0.01lot=10円

0.1lot=100円

1lot=1,000円

10lot=10,000円

0.8lot=800円

これに当てはめると、今回の適正ロット数は**0.83lot**と分かります！

3話目PDF

【⑥資金管理がテキスト】

本当に合ってるか確認してみます。

0.83lotでエントリーすれば

1pips動くと830円変動するので

今回の損切り幅30pipsをかけてやると

3話目PDF

【⑥資金管理がテキトー】

$$830\text{円} (1\text{pips}\text{変動時}) \times 30\text{pips} (\text{損切り幅}) = 24,900\text{円}$$

仮にこのトレードで負けたとしても

50万円の5%の損失許容額(25,000円)

を超えないことが確認できました。

3話目PDF

【⑥資金管理がテキトー】

このように資金管理を徹底すれば
予想以上の大損失は抑えることができますし
メンタルの安定にも繋がるので
必ず徹底してください！

【⑦リスクリワードを気にしない】

3話目PDF

【⑦リスクリワードを気にしない】

リスクリワードは

(リスク=損失:リワード=利益)

損失と利益の比率を表しています！

3話目PDF

【⑦リスクリワードを気にしない】

基本的に、

「損失1に対して利益をその1以上とりましょう」

というのがルールです。

※リスクリワード1:1以上

3話目PDF

【⑦リスクリワードを気にしない】

ジャンケンで例えると、

あなたが勝てば1000円渡します。
でも僕が勝ったら5000円ください。

と言われると絶対にやらないですよ？

3話目PDF

【⑦リスクリワードを気にしない】

これだと、

損失5に対して**利益1**で

かなり条件が悪いですね？

※リスクリワード5:1

3話目PDF

【⑦リスクリワードを気にしない】

FXの世界では

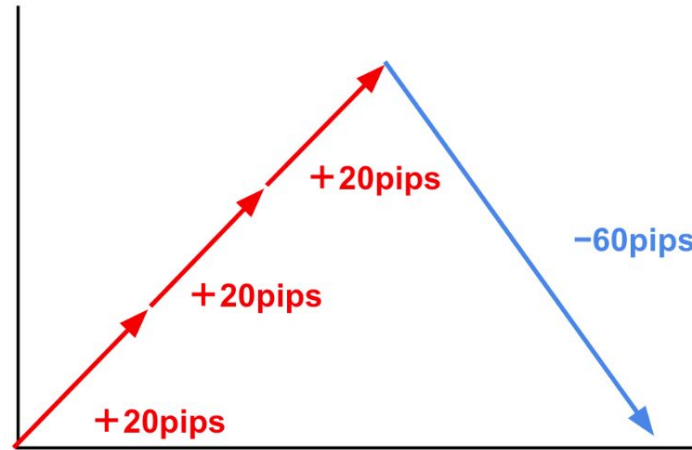
このような悪い条件であっても

トレードしてしまう人がほとんどです。

コレが9割のトレーダーがFXで勝ち続けられない理由です...

3話目PDF

【⑦リスクリワードを気にしない】

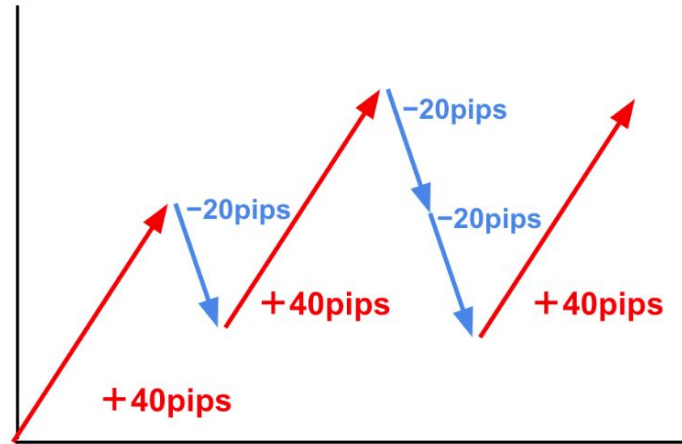


いくら勝率が高くても

このリスクリワードが悪ければトータルで負けてしまいます..

3話目PDF

【⑦リスクリワードを気にしない】



仮にリスクリワード1:2のトレードを徹底すれば
勝率が40%だったとしても利益は残ります！

3話目PDF

【⑦リスクリワードを気にしない】

なのでこのリスクリワードが良ければ良いほど
トータル利益も残りやすくなります！

必ず毎回のトレードで

リスクリワードを確認するようにしてください！

3話目PDF

【NG行為7選まとめ】



①損切りをしない

②損切り幅を固定する

③形だけを覚える

④過去検証していない

⑤いろんな手法を使う

⑥資金管理がテキトー

⑦リスクリワードを気にしない

3話目PDF

【まとめ】

1つでも当てはまっていると絶対に稼げないので

今すぐに軌道修正を行ってください！

